For Earth, For Life
Kubota

水 処 理 技 術 の 粋 を こ こ に。

製品カタログ

クボタ大型浄化槽

[51～5,000人槽]

L A R G E S I Z E

ECO FIRST
環境省認定
エコ・ファースト企業

ホームページ〈URL〉 http://jokaso.kubota.co.jp/

プラントパッケージ

クボタの高度な水処理技術を、
ワンパッケージにしてあなたのもとへ。

そこに水処理のニーズがあるかぎり、
持てるすべての技術とノウハウを投入し、水処理の最適なカタチを提供する。
それが、日本の、そして世界の水処理シーンをリードしてきたクボタの使命です。
クボタは、日本における水処理整備の重点地域が、
人口密集地域から人口散在地域へ移行するいま、
長年にわたる各種水処理プラントの建設で培ってきた、
高度な水処理エンジニアリングのノウハウを、1BOXにパッケージング。
求められる場所に、求められるサイズで、最良の水処理ソリューションをお届けします。
これからの合併処理浄化槽の主流は、クボタの「プラント・パッケージ」。
すでに、21世紀型の自然にやさしい地域づくり、
暮らしづくりをめざす多くのお客様に選ばれています。

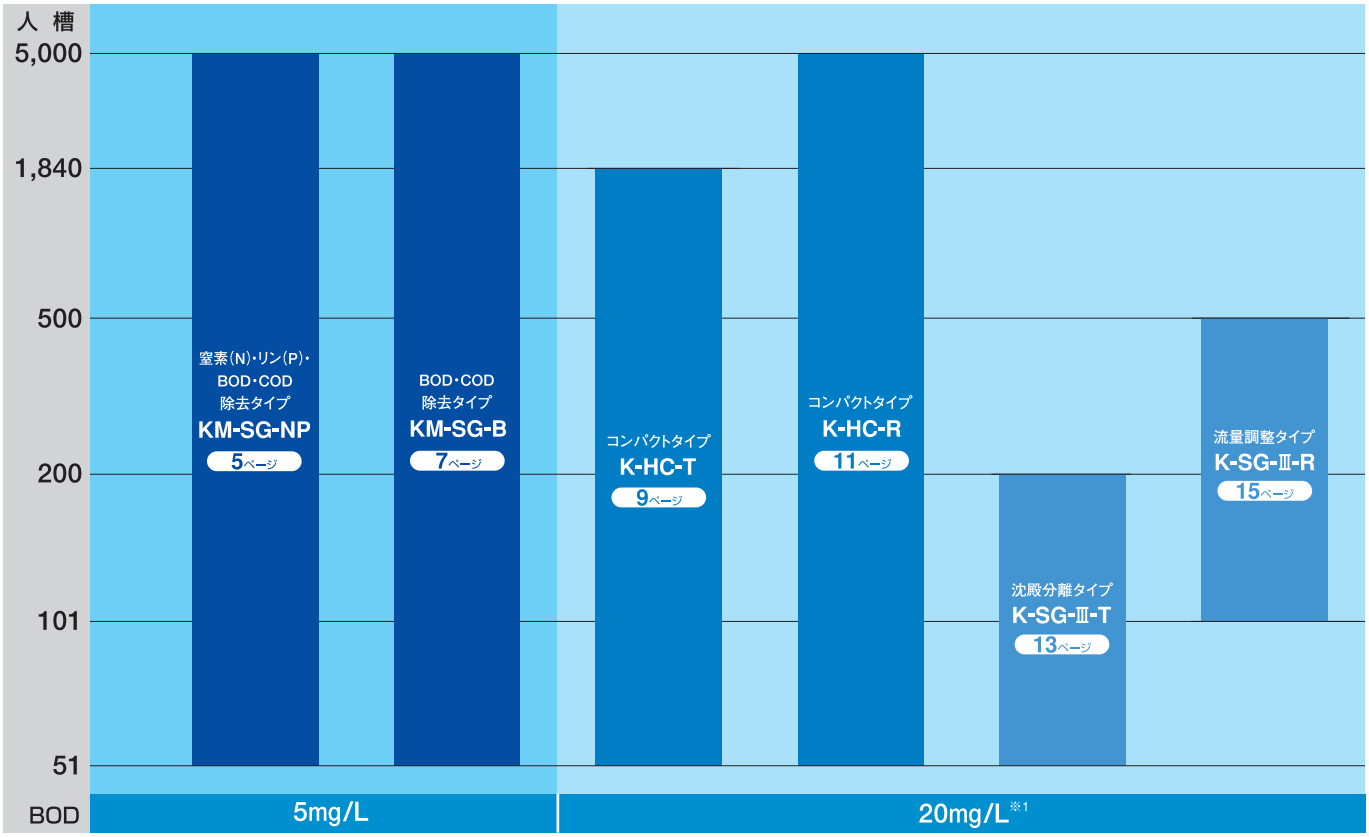
Environmental Technology
環境技術

Water Purification
水処理技術

Craftsmanship
モノ作り技術

求められる条件に、応える充実のラインナップ。

■大型浄化槽機種一覧



■大型浄化槽仕様一覧

シリーズ名		KM-SG-NP型		KM-SG-B型		K-HC-T型		K-HC-R型		K-SG-Ⅲ-T型	K-SG-Ⅲ-R型
処理方式		膜分離活性汚泥方式				ピークカット流量調整型固液分離嫌気ろ床担体流動ろ過循環方式		流量調整型担体流動ろ過循環方式		接触ばっ気方式	
		流量調整槽				ピークカット流量調整部		流量調整槽		沈殿分離槽	流量調整槽
除去対象		窒素(N)・リン(P)BOD・COD除去		BOD・COD除去						BOD除去	
告示区分		令35条第一項認定								第6第二	
処理性能		告示第8及び11同等以上		告示第8同等以上		告示第6同等以上					
		認定値	性能評定値	認定値	性能評定値	認定値	性能評価値	認定値	性能評価値	認定値	認定値
放流水質mg/L	BOD	10	5	10	5	20	20	20	20	20	20
	COD	10	10	10	10	—	30	—	30	—	—
	T-N	10	10	—	20	—	—	—	—	—	—
	T-P	1	0.5	—	—	—	—	—	—	—	—
	SS	—	5	—	5	—	20	—	20	—	—
	ノルマルヘキサン	—	3	—	3	—	20	—	20	—	—
	大腸菌群数(個/cm³)	—	100	—	100	—	3,000	—	3,000	—	—
人槽(人)		51～5,000		51～5,000		51～1,840		51～5,000		51～200	101～500
汚水量(m³/日)		5.1～470		5.1～470		2.55～92		2.55～395		5.1～39	10.1～138
断面形状(mm)		φ2,500※2									

※　放流水質のBOD(生物化学的酸素要求量)、COD(化学的酸素要求量)、T-N(全窒素)、T-P(全リン)、SS(浮遊物質量)濃度mg/Lは日間平均値です。

※1　後付三次処理槽によりBOD10mg/L以下対応可能です。

※2　K-HC-T型のみφ2,050タイプもあります。

●仕様・寸法等は改良のため予告なく変更することがあります。

長き歴史が育んだノウハウを活かし、

水処理技術の粋をそこに結集。
極めて高度で安定した水処理性能を発揮します。

液中膜

「液中膜®」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生みだした特許技術です。

膜分離方式

【対象商品】KM-SG-NP型/KM-SG-B型

窒素・リンの除去が可能（KM-SG-NPシリーズのみ）

膜分離方式の採用によって高濃度活性汚泥運転が可能となり、BODなどの有機汚濁物質だけでなく、窒素も容易に除去できます。リンについては、ばっ気槽に凝集剤を直接添加するだけで簡単に除去することが可能です。

設置面積がコンパクト

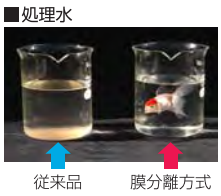
高濃度活性汚泥運転でばっ気槽容量を小さくできるほか、沈殿槽や汚泥濃縮槽などが不要なため、従来方式の浄化槽に比べて設置面積が30～60%で済みます（当社比）。

改修工事にも最適

既存の施設を利用した改修工事により処理能力の向上を図れます。

後処理なしで処理水の再利用が可能

液中膜®の小さな孔（1mmの1万分の4）を通過したものだけが処理水として排出されるので、処理水質のレベルは極めて高く、安定しています。バクテリアなども通過しないため、処理水は高度処理施設なしでも中水道や散水用水として再利用できます。



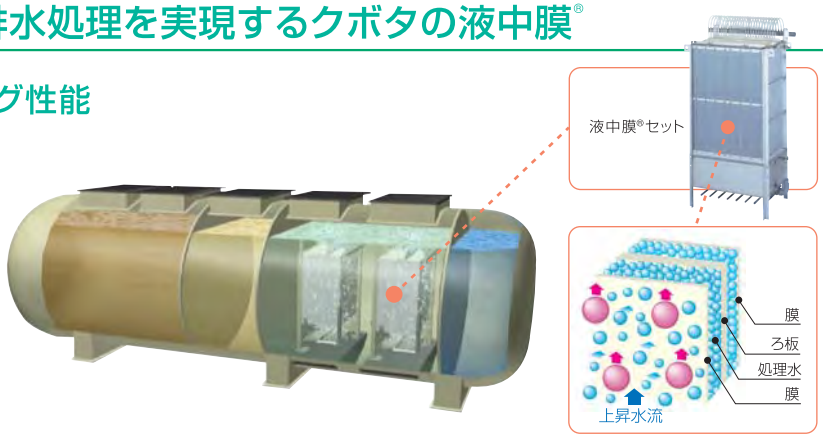
シンプルな処理工程で運転管理が容易

処理フローがシンプルで、かつ負荷変動にも強いため、運転管理が容易。電話回線を利用した遠隔監視システムもご用意しています。「液中膜®保証システム」を御参照ください。（P.19）

クリーンできめ細かな排水処理を実現するクボタの液中膜®

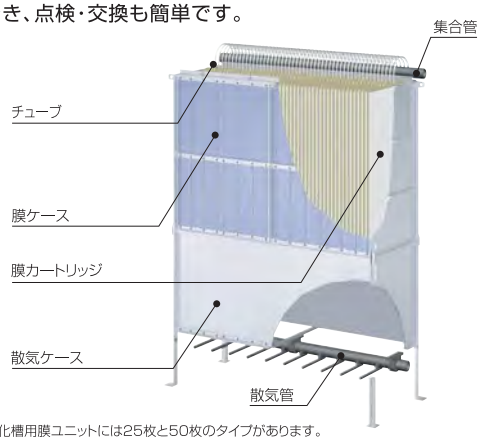
膜面の透過・クリーニング性能

液中膜®は、ポリオレフィンを原料とした微多孔性膜。膜面の微孔サイズより小さい透過液は通過できますが、汚れの成分はサイズが大きく通過できません。また、汚れは膜表面に吸い寄せられますが、ばっ気撹拌の水流と気泡が膜の表面に接触し、振動させながら上昇するため、膜面はつねに洗浄され、微孔の目詰まりを防いでいます。



膜ユニットの構成

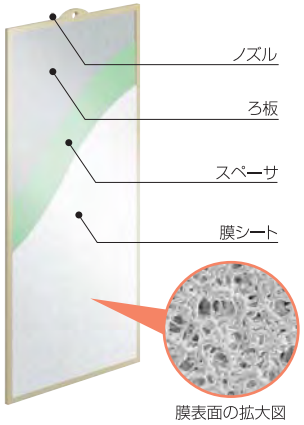
膜ユニットは、ろ板の両側に微多孔性膜を貼った膜カートリッジ、その内側から処理水を抜き出すチューブと集合管、多枚数の膜カートリッジを収納する膜ケース、さらには下部の散気管と散気ケースで構成されています。膜カートリッジは1枚ずつ取り出すことができ、点検・交換も簡単です。



※FRP製大型浄化槽用膜ユニットには25枚と50枚のタイプがあります。

膜カートリッジのしくみ

膜カートリッジの両面に貼られた膜材は、塩素化ポリエチレンを原料とした孔径0.4μmの微多孔性膜です。処理水はスペーサを通り、ノズルから排出されます。



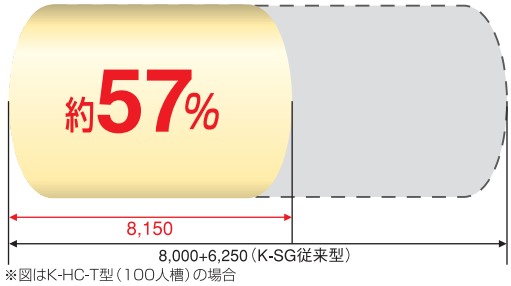
クリーン化技術をつぎのステージへ。

槽の小型化と水処理の安定化を両立。
工費のコストダウンに貢献します。

担体流動ろ過方式　【対象商品】K-HC-T型/K-HC-R型

浄化槽の全長比を大幅にコンパクト化

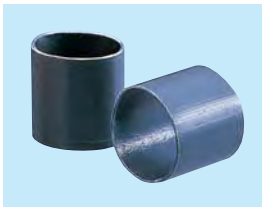
K-HC-T型は、従来の沈殿分離方式の浄化槽に比べて、槽の全長比を約57～70%小型化（当社比）。
K-HC-R型はさらに小さくなります。

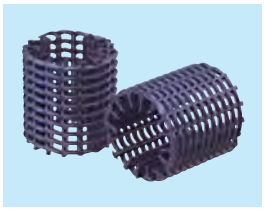


※図はK-HC-T型（100人槽）の場合

担体流動ろ過方式で高効率な処理を実現

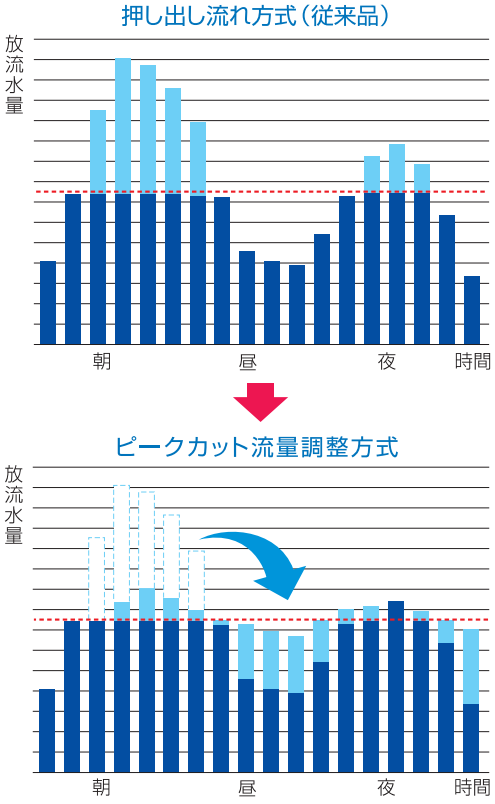
担体流動槽では微生物の保持能力が高い中空円筒状の担体を採用。


■ろ過担体　表面平滑円筒
（φ14～16×15mm）


■流動担体
（φ28×28mm）

ピークカット流量調整方式で処理能力が安定

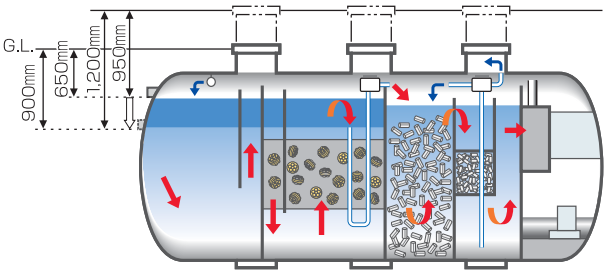
流入水が著しく増加した場合に流量調整部で流入水を一時貯留し、流入水量の変動を緩和するシステム。
K-HC-T型はピークカット流量調整方式で固液分離槽と嫌気ろ床槽の一部を流量調整部としています。
K-HC-R型は流量調整槽を設けています。



※グラフはイメージ図です。

流入管底1,200mmまで原水ポンプ槽が不要

K-HC-T型は流入管底はGL-650～900mmの範囲で設計できます。
また嵩上げ最大300mmではGL-1,200mmまで原水ポンプ槽が不要です。（φ2,500の場合）
※K-HC-R型は嵩上げ最大300mmでGL-1,700まで対応できます。



維持管理費用を軽減

K-HC-T型の定期点検は4週間に1回（流入BODが高い建築用途は2週間に1回）の割合で済みます。
K-HC-R型は2週間に1回です。

性能評価を取得

建築基準法に基づき性能評価を取得しました。

クボタ大型浄化槽

膜分離活性汚泥方式 KM-SG-NP型

51~5,000 人槽 | 汚水量(㎥/日) 5.1~470 | N・P除去 | 令35条 第一項認定

◎設計条件

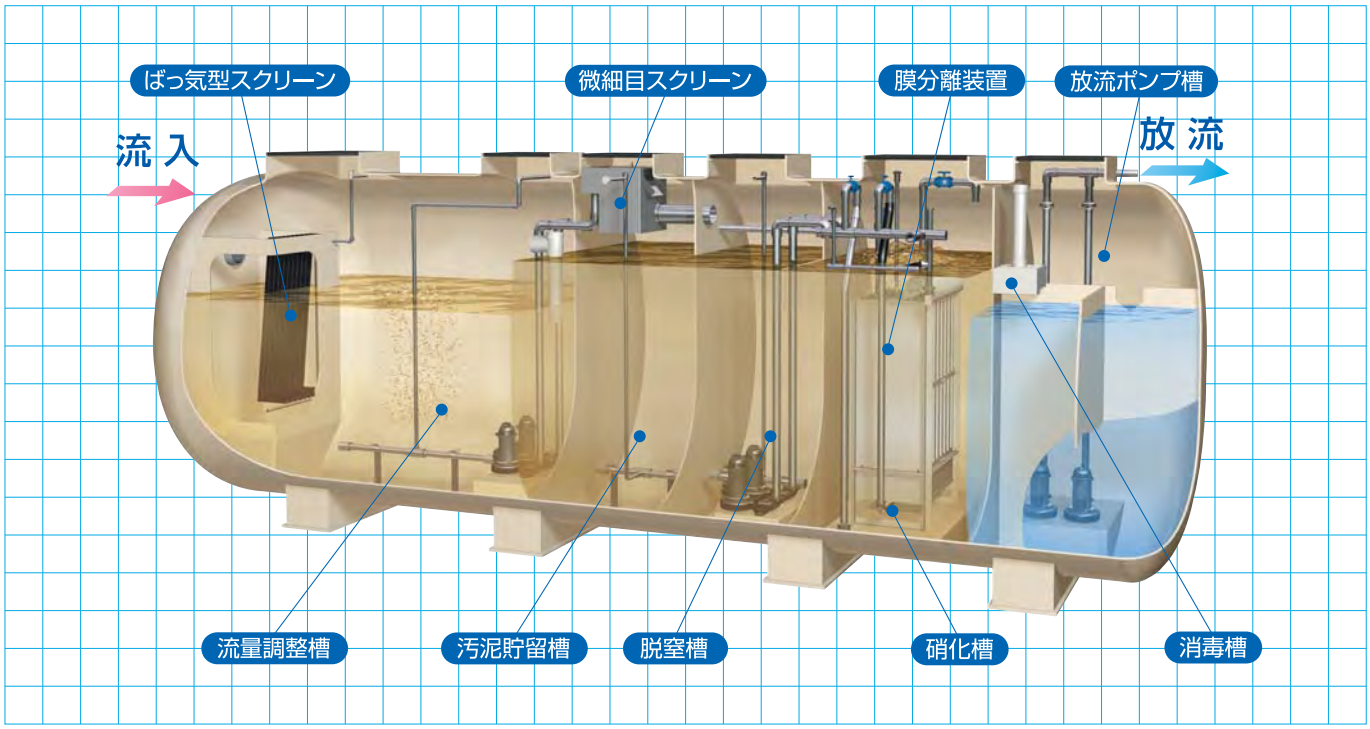
	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	10mg/L以下
COD	100mg/L	10mg/L以下
T-N	50~100mg/L	10mg/L以下
T-P	5mg/L	1mg/L以下

液中膜

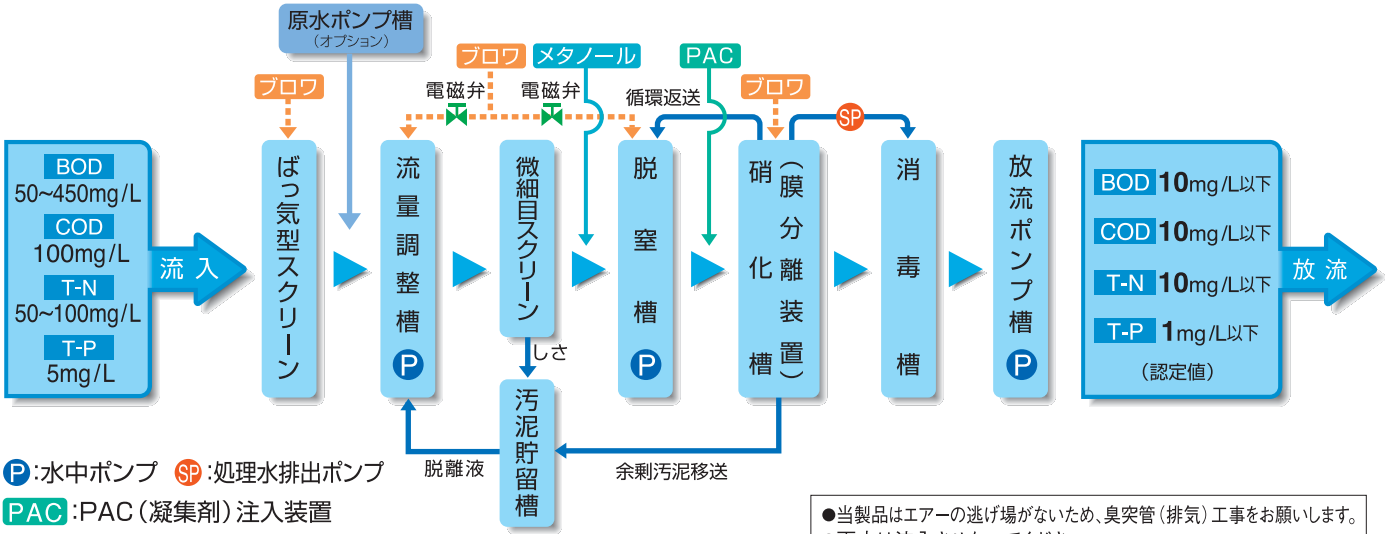
「液中膜®」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生みだした特許技術です。

●膜分離＋循環式高濃度活性汚泥法＋凝集脱リン法で窒素・リン除去が可能です。
●原水ポンプ槽内蔵型も設計対応。さらにコンパクト化が可能です。

断面パース図



フローシート(処理工程図)



P:水中ポンプ SP:処理水排出ポンプ
PAC:PAC(凝集剤)注入装置
メタノール:メタノール(脱窒用炭素源)注入装置(オプション)

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き	膜カートリッジ交換
	1回/1~2週	1回/1~2週	5年目安

●当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をお願いします。
●雨水は流入させないでください。
●油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
●温泉排水は流入させないでください。
●取扱説明書をよくお読みください。
●トイレ排水のみの場合COD10mg/Lを超える場合があります。

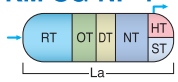
■ 型式の読み方

KM-SG-NP-1型

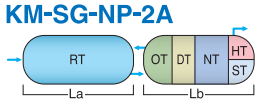
- 処理方式 円筒の断面形状
- 放流水質
- 槽の配列

槽の配列

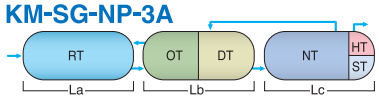
KM-SG-NP-1



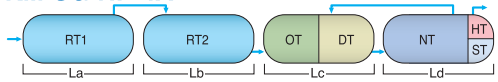
KM-SG-NP-2A



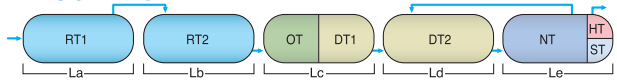
KM-SG-NP-3A



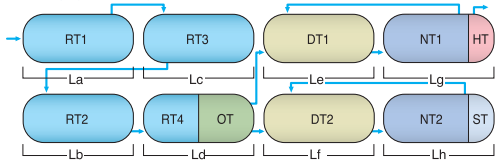
KM-SG-NP-4A



KM-SG-NP-5A



KM-SG-NP-8B

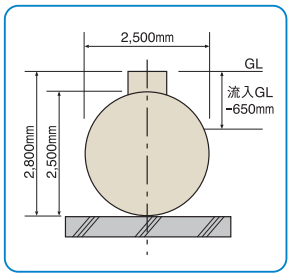


記号の説明

- RT 流量調整槽
- OT 汚泥貯留槽
- DT 脱窒槽
- NT 硝化槽
- ST 消毒槽
- HT 処理水槽（放流ポンプ槽）

※原水ポンプ槽・水中ブロワ槽もオプションでご用意致しております。

断面寸法図



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人･日、流入水BOD 200mg/L、T-N 50mg/L、排水時間 12hrの場合）

処理対象人員（人）	配列	汚水量（m³/日）	計画スペース（mm）		槽本体全長（mm）								必要電気容量（kW）
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Le	Lf	Lg	Lh	
51	1	10.2	3,600	6,750	6,150	—	—	—	—	—	—	—	3.39
75	1	15.0	3,600	7,400	6,800	—	—	—	—	—	—	—	3.39
100	1	20.0	3,600	9,150	8,550	—	—	—	—	—	—	—	3.39
125	1	25.0	3,600	10,200	9,600	—	—	—	—	—	—	—	3.44
150	1	30.0	3,600	11,200	10,600	—	—	—	—	—	—	—	3.44
175	2A	35.0	3,600	14,150	5,400	7,650	—	—	—	—	—	—	4.19
200	2A	40.0	3,600	15,150	6,100	7,950	—	—	—	—	—	—	4.84
225	2A	45.0	3,600	16,200	6,800	8,300	—	—	—	—	—	—	4.84
250	2A	50.0	3,600	18,200	7,500	9,600	—	—	—	—	—	—	4.84
275	2A	55.0	3,600	19,200	8,200	9,900	—	—	—	—	—	—	5.54
300	2A	60.0	3,600	20,250	8,900	10,250	—	—	—	—	—	—	5.54
325	3A	65.0	3,600	23,300	9,600	5,600	6,500	—	—	—	—	—	7.04
350	3A	70.0	3,600	24,350	10,250	6,000	6,500	—	—	—	—	—	7.04
375	4A	75.0	3,600	26,250	5,600	5,650	6,400	6,500	—	—	—	—	7.04
400	4A	80.0	3,600	27,300	5,950	6,000	6,750	6,500	—	—	—	—	7.79
425	4A	85.0	3,600	29,450	6,300	6,350	7,200	7,500	—	—	—	—	7.79
450	4A	90.0	3,600	30,500	6,650	6,650	7,600	7,500	—	—	—	—	7.79
475	4A	95.0	3,600	31,600	7,000	7,000	8,000	7,500	—	—	—	—	7.79
500	4A	100.0	3,600	33,700	7,350	7,350	8,400	8,500	—	—	—	—	8.79
600	4A	120.0	3,600	39,100	8,750	8,750	10,000	9,500	—	—	—	—	11.64
700	5A	140.0	3,600	45,450	10,200	10,200	5,950	6,000	10,500	—	—	—	13.04
800	8B	160.0	6,600	27,550	6,550	6,550	6,600	6,600	5,600	5,600	6,700	6,700	16.555
1,000	8B	200.0	6,600	33,250	8,250	8,250	8,250	8,250	6,950	6,900	7,700	7,700	17.28

※必要電気容量は「撹拌ブロワ」「硝化槽ばっ気ブロワ（単独運転想定）」「微細目スクリーン」「流量調整ポンプ」「循環ポンプ」「排出ポンプ」「放流ポンプ」「PAC注入」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

クボタ大型浄化槽

膜分離活性汚泥方式 KM-SG-B型

51~5,000 人槽 | 汚水量(m³/日) 5.1~470 | BOD・COD除去 | 令35条第一項認定

◎設計条件

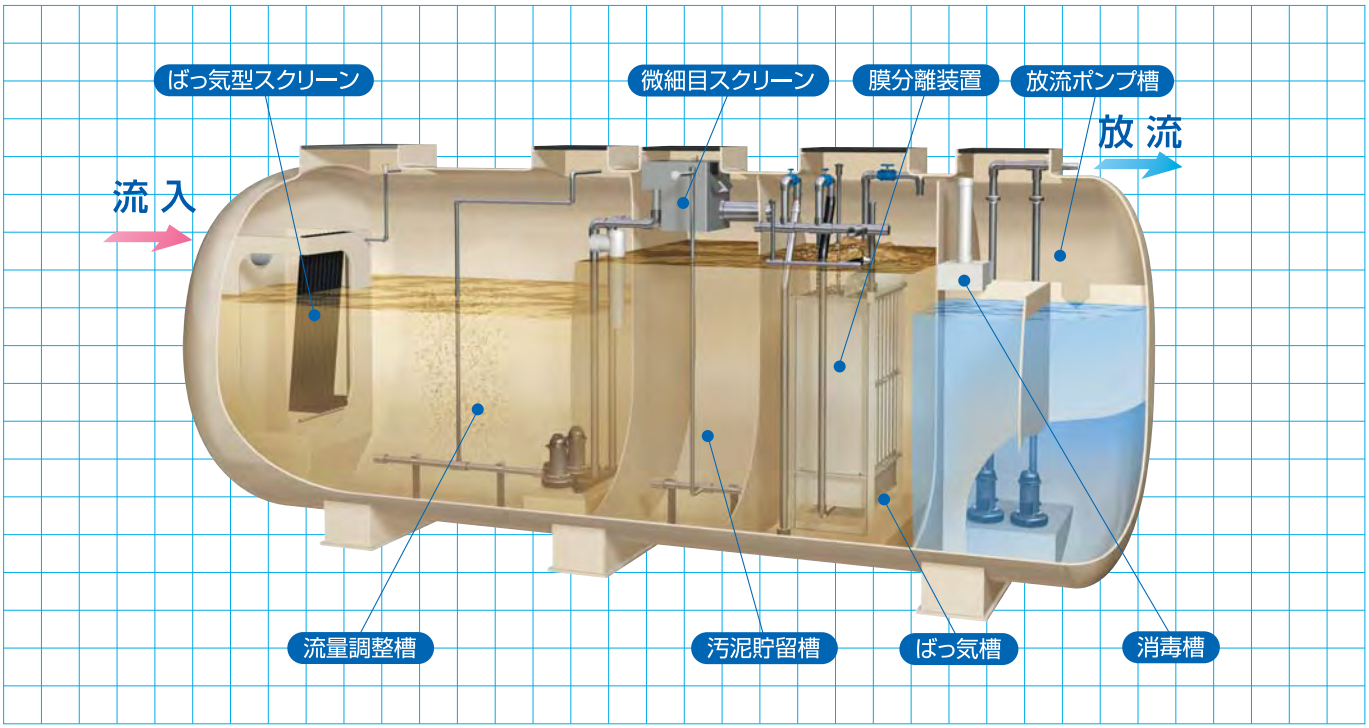
	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	10mg/L以下
COD	100mg/L	10mg/L以下

液中膜

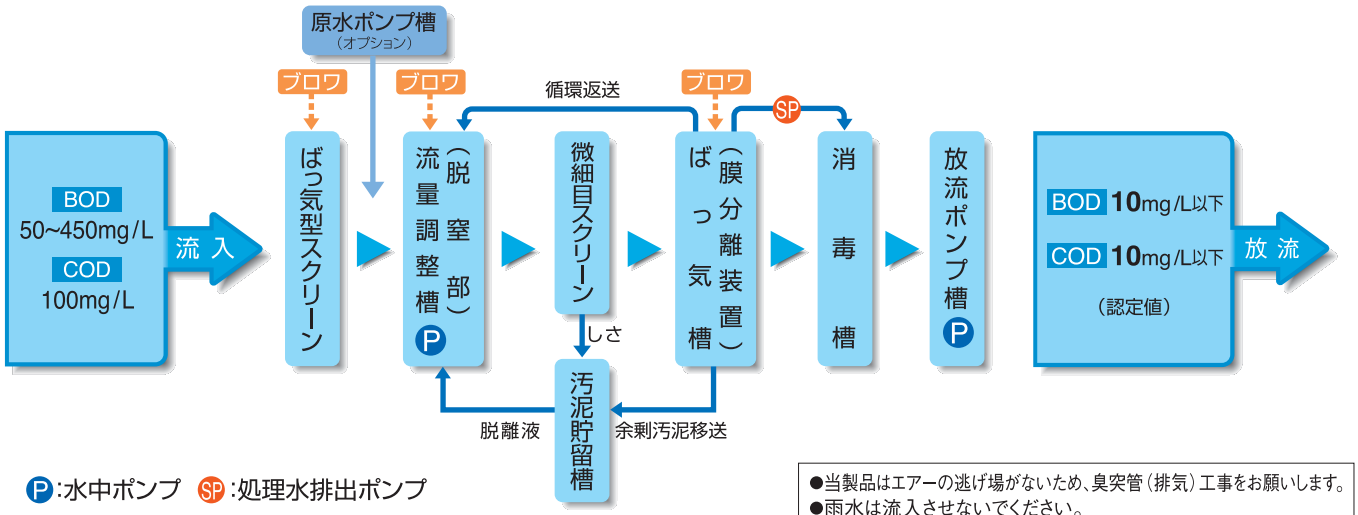
「液中膜®」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生みだした特許技術です。

- 流量調整槽内に脱窒部を確保。脱窒素槽を省略したため、さらにコンパクト・省スペース化を実現します。
- COD規制10mg/L以下に加えて窒素除去能力20mg/L以下も可能です(一般評定)。
- 原水ポンプ槽内蔵型も条件により設計可能です。

断面パース図



フローシート(処理工程図)



P:水中ポンプ SP:処理水排出ポンプ

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き	膜カートリッジ交換
	1回/1~2週	1回/1~2週	5年目安

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。
- トイレ排水のみの場合COD10mg/Lを超える場合があります。

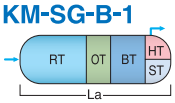
■ 型式の読み方

KM-SG-B-1型

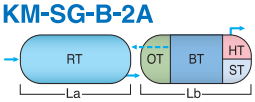
処理方式 円筒の断面形状 / 放流水質 / 槽の配列

槽の配列

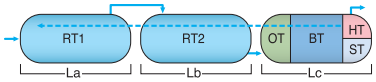
KM-SG-B-1



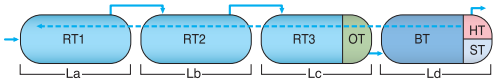
KM-SG-B-2A



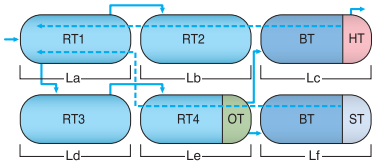
KM-SG-B-3A



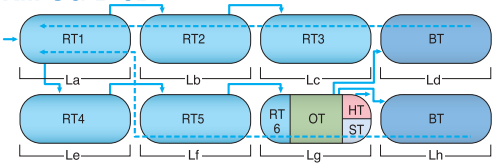
KM-SG-B-4B



KM-SG-B-6B



KM-SG-B-8B

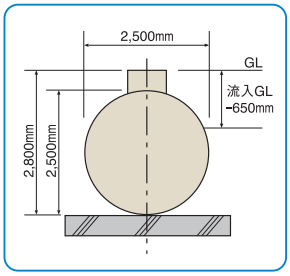


記号の説明

RT 流量調整槽　OT 汚泥貯留槽
BT ばっ気槽　ST 消毒槽
HT 処理水槽（放流ポンプ槽）

※原水ポンプ槽・水中ブロワ槽もオプションでご用意致しております。

断面寸法図



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人･日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hrの場合）

処理対象人員（人）	配列	汚水量（m³/日）	計画スペース（mm）		槽本体全長（mm）								必要電気容量（kW）
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Le	Lf	Lg	Lh	
51	1	10.2	3,600	6,230	5,630	—	—	—	—	—	—	—	3.125
75	1	15.0	3,600	6,430	5,830	—	—	—	—	—	—	—	3.125
100	1	20.0	3,600	8,270	7,670	—	—	—	—	—	—	—	3.125
125	1	25.0	3,600	9,070	8,470	—	—	—	—	—	—	—	3.175
150	1	30.0	3,600	9,870	9,270	—	—	—	—	—	—	—	3.175
175	2A	35.0	3,600	13,060	6,250	5,710	—	—	—	—	—	—	3.925
200	2A	40.0	3,600	13,910	7,100	5,710	—	—	—	—	—	—	4.425
225	2A	45.0	3,600	14,710	7,900	5,710	—	—	—	—	—	—	4.425
250	2A	50.0	3,600	16,500	8,700	6,700	—	—	—	—	—	—	4.425
275	2A	55.0	3,600	17,300	9,500	6,700	—	—	—	—	—	—	4.775
300	2A	60.0	3,600	18,150	10,350	6,700	—	—	—	—	—	—	4.775
325	3A	65.0	3,600	20,690	5,700	5,700	7,690	—	—	—	—	—	6.275
350	3A	70.0	3,600	21,540	6,150	6,100	7,690	—	—	—	—	—	6.275
375	3A	75.0	3,600	22,340	6,550	6,500	7,690	—	—	—	—	—	6.275
400	3A	80.0	3,600	23,140	6,950	6,900	7,690	—	—	—	—	—	6.275
425	3A	85.0	3,600	24,980	7,350	7,350	8,680	—	—	—	—	—	6.275
450	3A	90.0	3,600	25,780	7,750	7,750	8,680	—	—	—	—	—	6.275
475	3A	95.0	3,600	26,580	8,150	8,150	8,680	—	—	—	—	—	6.275
500	3A	100.0	3,600	28,370	8,550	8,550	9,670	—	—	—	—	—	7.275
600	4B	120.0	3,600	33,910	7,400	7,400	7,400	9,610	—	—	—	—	10.125
700	4B	140.0	3,600	38,550	8,650	8,600	8,600	10,600	—	—	—	—	10.825
800	6B	160.0	6,600	23,090	7,450	7,400	7,400	7,400	6,640	6,640	—	—	13.525
1,000	6B	200.0	6,600	28,030	9,400	9,400	9,400	9,350	7,630	7,630	—	—	13.525
1,500	8B	300.0	6,600	40,950	9,600	9,600	9,600	9,600	9,550	9,550	10,100	10,100	14.25

※必要電気容量は「撹拌ブロワ」「ばっ気ブロワ（単独運転想定）」「微細目スクリーン」「汚水移送ポンプ」「処理水排出ポンプ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。
注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

ピークカット流量調整型
固液分離嫌気ろ床担体流動ろ過循環方式

51~1,840 人槽 | 汚水量(㎥/日) 2.55~92 | ピークカット流量調整部 | 令35条 第一項認定

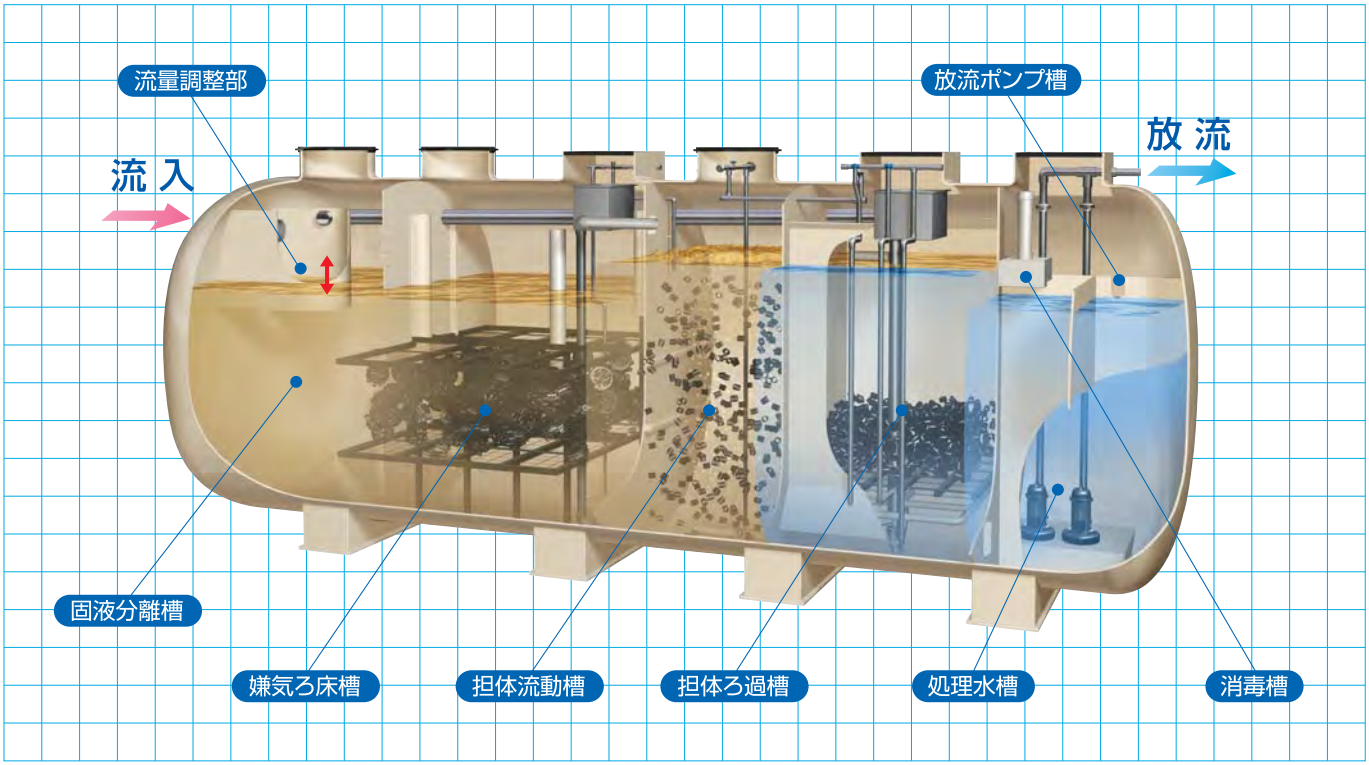
K-HC-T型

◎設計条件

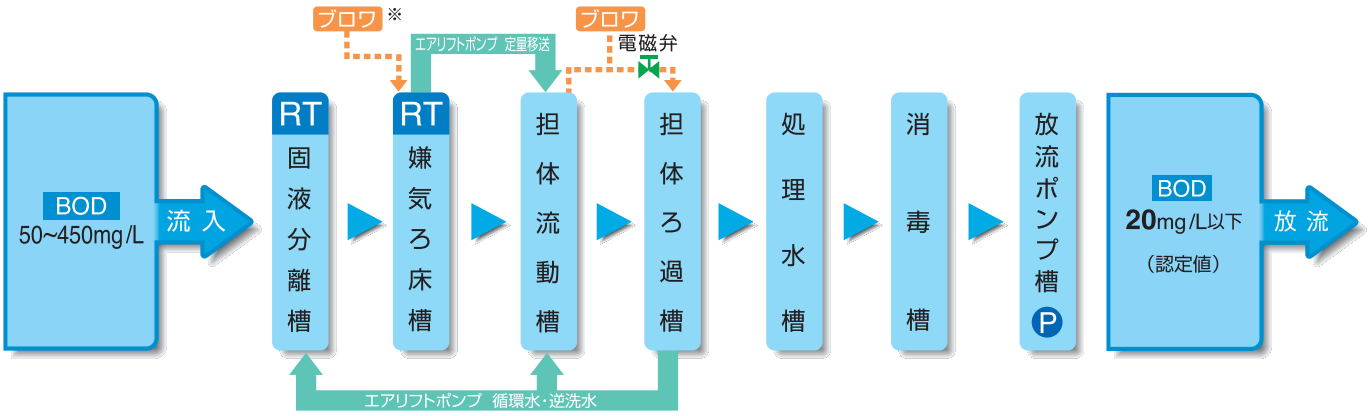
	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

- 従来よりコンパクトなK-HC-T-1Cタイプが登場。
- 最大140人(28㎥/日)まで1槽で対応できます。(1Cタイプは148人 29.6㎥/日まで)
- 現場に応じてφ2,050・φ2,500の2タイプから選択可能です。
- 汚濁負荷の高い排水対策として固液分離槽の容量を増やすことができます。

断面パース図



フローシート(処理工程図)



Ⓟ:水中ポンプ RT:ピークカット流量調整部
※流調エアリフトブロワは、ばっ気ブロワと共用し省略可能です。

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/2~4週	1回/6ヶ月

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

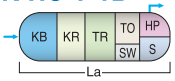
■ 型式の読み方

K-HC-T-1B型

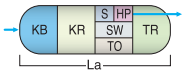
- 槽の配列
- 処理方式
- 円筒の断面形状

槽の配列

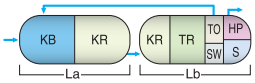
K-HC-T-1B



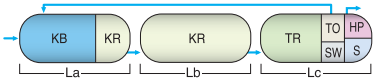
K-HC-T-1C



K-HC-T-2B



K-HC-T-3B

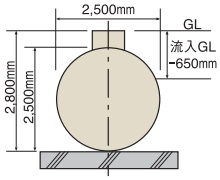


記号の説明

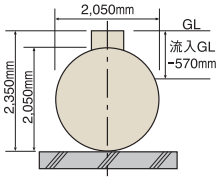
- KB 固液分離槽
- KR 嫌気ろ床槽
- TR 担体流動槽
- TO 担体ろ過槽
- SW 処理水槽
- S 消毒槽
- HP 放流ポンプ槽

断面寸法図

■胴径φ2,500



■胴径φ2,050



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人･日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hrの場合）

処理対象人員（人）	配　列	胴　径	汚水量（m³/日）	計画スペース（mm）		槽本体全長（mm）			必要電気容量（kW）
				W	L	La	Lb	Lc	
51	1C	φ2,500	10.2	3,600	5,200	4,600	—	—	0.80
	1B	φ2,500	10.2	3,600	6,100	5,500	—	—	0.90
	1BS	φ2,050	10.2	3,150	7,850	7,250	—	—	1.45
55	1C	φ2,500	11.0	3,600	5,350	4,750	—	—	0.80
	1B	φ2,500	11.0	3,600	6,250	5,650	—	—	0.90
	1BS	φ2,050	11.0	3,150	7,850	7,250	—	—	1.45
60	1C	φ2,500	12.0	3,600	5,550	4,950	—	—	0.90
	1B	φ2,500	12.0	3,600	6,400	5,800	—	—	0.90
	1BS	φ2,050	12.0	3,150	8,300	7,700	—	—	1.45
65	1C	φ2,500	13.0	3,600	5,750	5,150	—	—	0.90
	1B	φ2,500	13.0	3,600	6,600	6,000	—	—	0.90
	1BS	φ2,050	13.0	3,150	8,800	8,200	—	—	1.45
70	1C	φ2,500	14.0	3,600	6,050	5,450	—	—	0.90
	1B	φ2,500	14.0	3,600	6,900	6,300	—	—	0.90
	1BS	φ2,050	14.0	3,150	9,250	8,650	—	—	1.45
75	1C	φ2,500	15.0	3,600	6,350	5,750	—	—	0.90
	1B	φ2,500	15.0	3,600	7,200	6,600	—	—	0.90
80	1C	φ2,500	16.0	3,600	6,650	6,050	—	—	0.90
	1B	φ2,500	16.0	3,600	7,500	6,900	—	—	0.90
85	1C	φ2,500	17.0	3,600	7,000	6,400	—	—	0.90
	1B	φ2,500	17.0	3,600	7,850	7,250	—	—	1.25
90	1C	φ2,500	18.0	3,600	7,300	6,700	—	—	1.35
	1B	φ2,500	18.0	3,600	8,150	7,550	—	—	1.25
95	1C	φ2,500	19.0	3,600	7,600	7,000	—	—	1.35
	1B	φ2,500	19.0	3,600	8,450	7,850	—	—	1.25
100	1C	φ2,500	20.0	3,600	7,950	7,350	—	—	1.35
	1B	φ2,500	20.0	3,600	8,750	8,150	—	—	1.25
105	1C	φ2,500	21.0	3,600	8,350	7,750	—	—	1.35
	1B	φ2,500	21.0	3,600	9,100	8,500	—	—	1.25
110	1C	φ2,500	22.0	3,600	8,600	8,000	—	—	1.35
	1B	φ2,500	22.0	3,600	9,350	8,750	—	—	1.25
115	1C	φ2,500	23.0	3,600	8,950	8,350	—	—	1.35
	1B	φ2,500	23.0	3,600	9,650	9,050	—	—	1.25
120	1C	φ2,500	24.0	3,600	9,300	8,700	—	—	1.35
	1B	φ2,500	24.0	3,600	9,950	9,350	—	—	1.25
130	1C	φ2,500	26.0	3,600	10,000	9,400	—	—	1.45
	1B	φ2,500	26.0	3,600	10,550	9,950	—	—	1.35
140	1C	φ2,500	28.0	3,600	10,650	10,050	—	—	1.25
	1B	φ2,500	28.0	3,600	11,150	10,550	—	—	1.25
145	1C	φ2,500	29.0	3,600	11,050	10,450	—	—	1.25
	2B	φ2,500	29.0	3,600	12,350	5,650	5,600	—	1.25
150	2B	φ2,500	30.0	3,600	12,750	5,850	5,800	—	1.25
180	2B	φ2,500	36.0	3,600	14,700	6,800	6,800	—	2.05
200	2B	φ2,500	40.0	3,600	16,050	7,500	7,450	—	2.00
280	2B	φ2,500	56.0	3,600	21,350	10,150	10,100	—	2.20
320	3B	φ2,500	64.0	3,600	24,900	8,150	8,150	7,000	3.25
400	3B	φ2,500	80.0	3,600	30,200	10,100	10,050	8,450	3.45

※必要電気容量は「ばっ気ブロワ（単独運転想定）」「流量調整エアリフトブロワ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

クボタ大型浄化槽

流量調整型
担体流動ろ過循環方式

51~5,000 人槽

汚水量(㎥/日) 2.55~395

流量調整槽

令35条 第一項認定

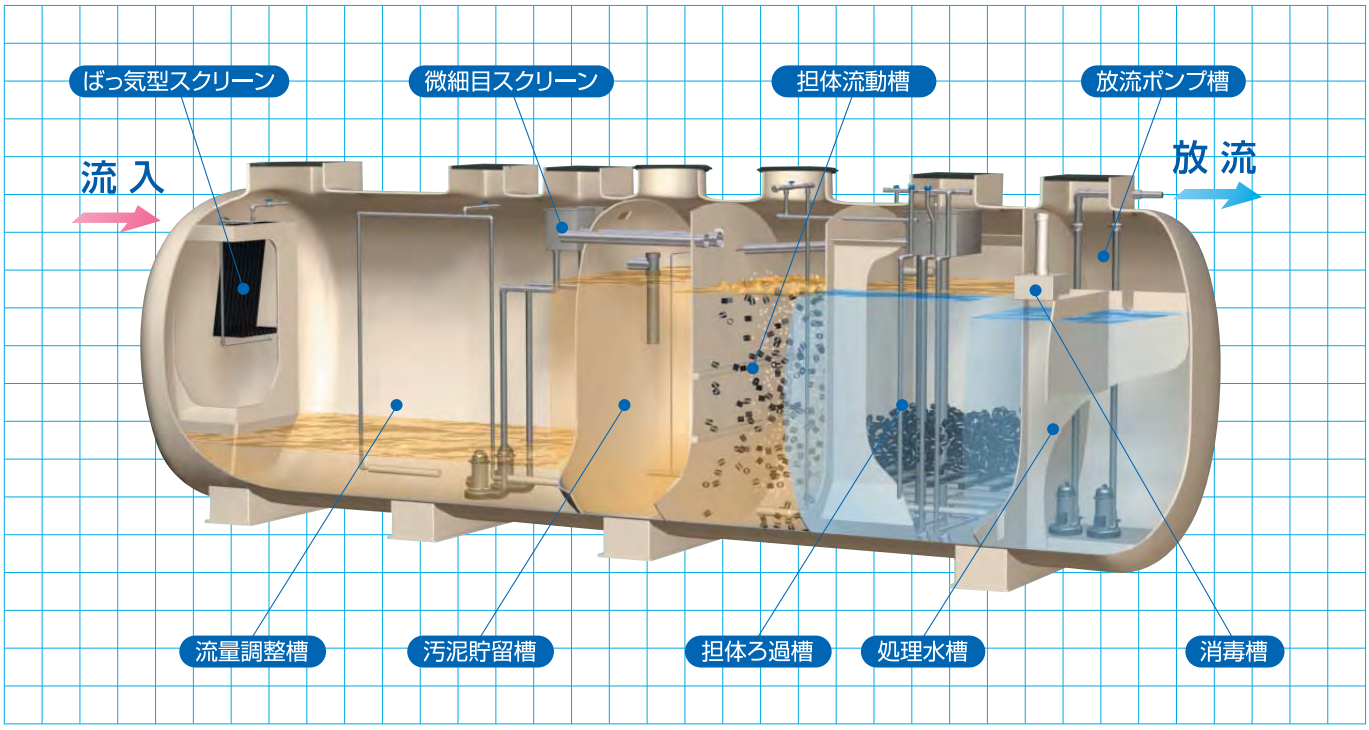
K-HC-R型

◎設計条件

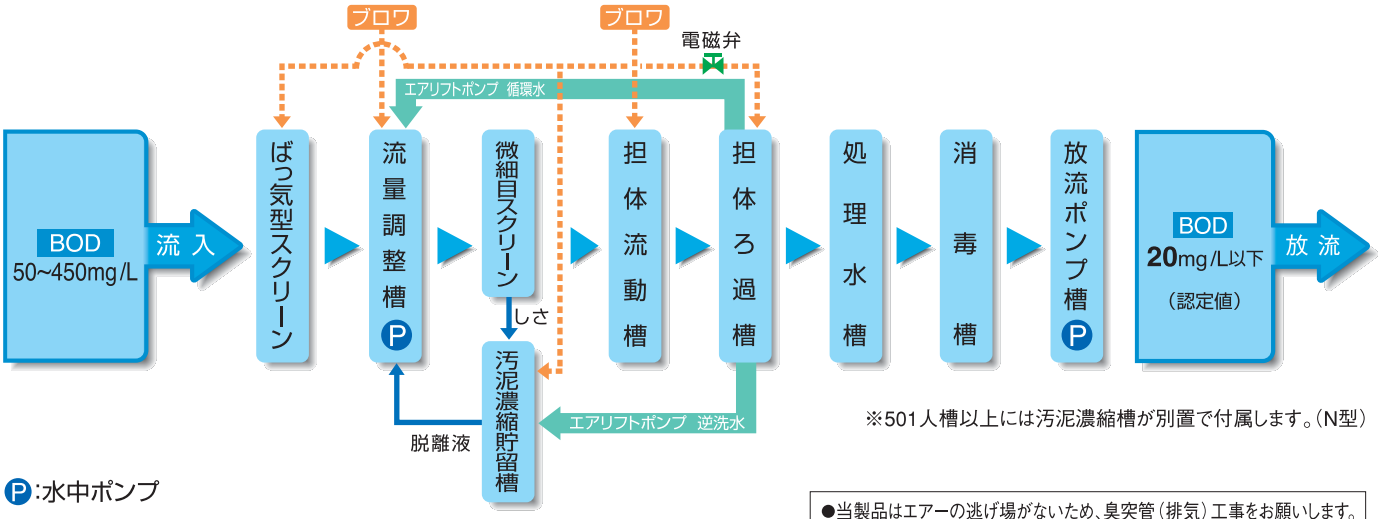
	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

- 最大240人(48㎥/日、排水時間12時間)まで1槽で対応できます。
- 流入管底GL-1700mm(かさ上げ300mm)まで原水ポンプ槽が不要な設計も可能。
- 流量調整機能+担体流動ろ過方式による安定処理を実現。
- 流量調整比を変更することにより、様々な建築用途に対応できます。

断面パース図



フローシート(処理工程図)



※501人槽以上には汚泥濃縮槽が別置で付属します。(N型)

Ⓟ:水中ポンプ

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き	
	1回/2週	1回/2週	1回/1週(501人以上)

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

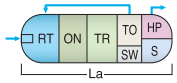
■ 型式の読み方

K-HC-R1型

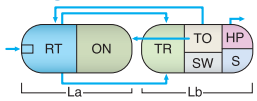
- 槽の配列
- 処理方式
- 円筒の断面形状

槽の配列

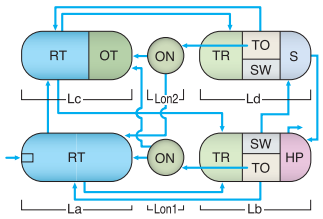
K-HC-R1



K-HC-R2



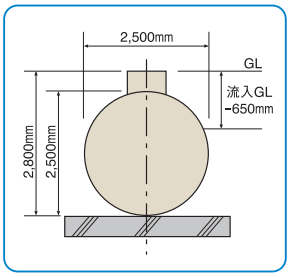
K-HC-R4N



記号の説明

- RT 流量調整槽
- TR 担体流動槽
- TO 担体ろ過槽
- S 消毒槽
- ON 汚泥濃縮貯留槽もしくは汚泥濃縮槽
- OT 汚泥貯留槽
- SW 処理水槽
- HP 放流ポンプ槽

断面寸法図



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人･日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hrの場合）

処理対象人員（人）	配　列	汚水量（㎥/日）	計画スペース（mm）		槽本体全長（mm）						必要電気容量（kW）
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Lon1	Lon2	
51	1	10.2	3,600	6,200	5,600	—	—	—	—	—	1.43
100	1	20.0	3,600	6,650	6,050	—	—	—	—	—	1.78
150	1	30.0	3,600	8,050	7,450	—	—	—	—	—	1.78
160	1	32.0	3,600	8,350	7,750	—	—	—	—	—	2.53
170	1	34.0	3,600	8,750	8,150	—	—	—	—	—	2.53
180	1	36.0	3,600	9,050	8,450	—	—	—	—	—	2.53
190	1	38.0	3,600	9,450	8,850	—	—	—	—	—	2.53
200	1	40.0	3,600	9,750	9,150	—	—	—	—	—	2.53
210	1	42.0	3,600	10,150	9,550	—	—	—	—	—	2.53
220	1	44.0	3,600	10,550	9,950	—	—	—	—	—	2.53
230	1	46.0	3,600	10,850	10,250	—	—	—	—	—	2.53
240	1	48.0	3,600	11,300	10,700	—	—	—	—	—	2.58
250	2	50.0	3,600	12,550	5,350	6,100	—	—	—	—	2.58
260	2	52.0	3,600	12,950	5,550	6,300	—	—	—	—	2.58
270	2	54.0	3,600	13,350	5,750	6,500	—	—	—	—	2.58
280	2	56.0	3,600	13,650	5,900	6,650	—	—	—	—	3.28
290	2	58.0	3,600	14,100	6,100	6,900	—	—	—	—	3.48
300	2	60.0	3,600	14,450	6,300	7,050	—	—	—	—	3.48
350	2	70.0	3,600	16,400	7,250	8,050	—	—	—	—	3.53
400	2	80.0	3,600	18,300	8,150	9,050	—	—	—	—	3.33
450	2	90.0	3,600	20,150	9,050	10,000	—	—	—	—	3.93
500	4	100.0	6,600	12,400	5,150	6,100	5,200	6,100	—	—	4.23
600	4N	120.0	6,600	16,050	5,300	7,050	5,350	7,050	2,050	2,050	6.78
700	4N	140.0	6,600	17,950	6,200	8,050	6,250	8,050	2,050	2,050	9.28
800	4N	160.0	6,600	19,700	7,000	9,050	7,000	9,050	2,050	2,050	9.28
900	4N	180.0	6,600	21,950	7,800	10,000	7,850	10,000	2,500	2,500	10.78

※必要電気容量は「ばっ気ブロワ（単独運転想定）」「流量調整攪拌ブロワ」「流量調整ポンプ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

接触ばっ気方式

51~200 人槽 | 汚水量(㎥/日) 5.1~39 | 沈殿分離槽 | 告示 第6第二号

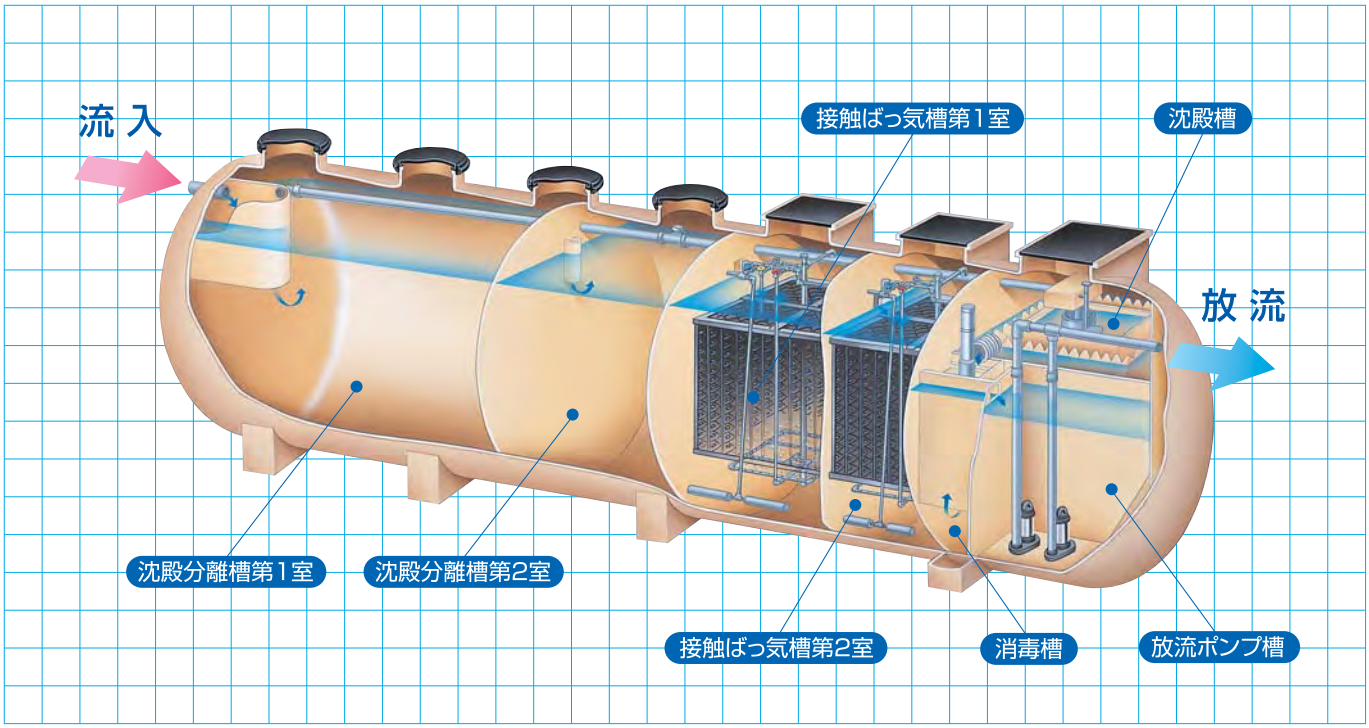
K-SG-Ⅲ-T型

◎設計条件

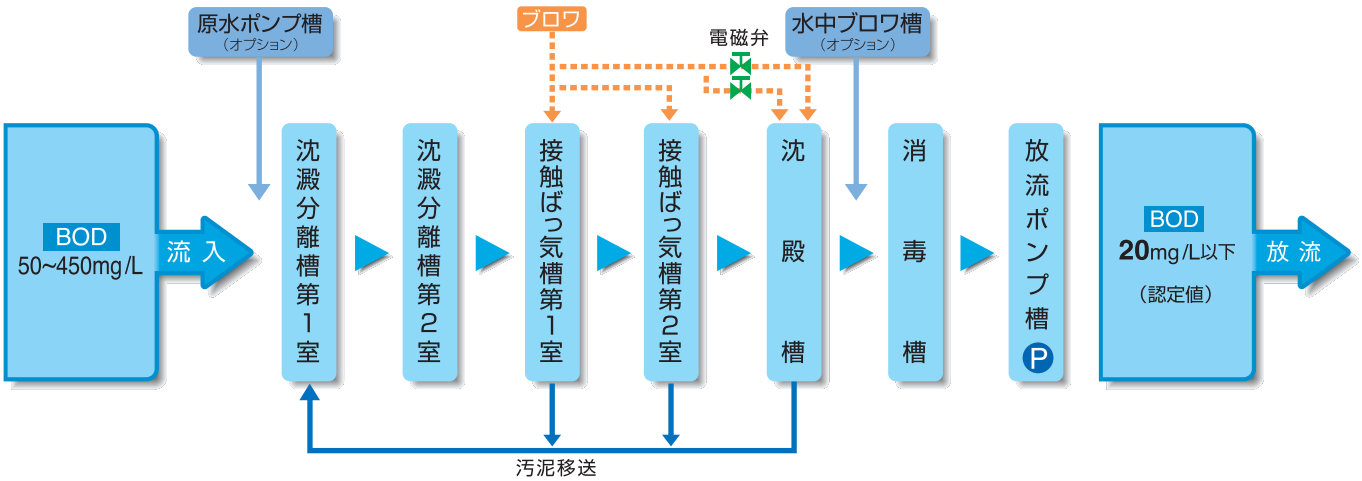
	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

- 51～200人までの小・中規模施設に適しています。
- 定評ある沈殿分離＋接触ばっ気方式を採用。安定した処理水質が期待できます。
- メンテナンスも容易に行えます。

断面パース図



フローシート(処理工程図)



Ⓟ:水中ポンプ

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/3ヶ月	1回/1年

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

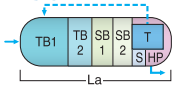
■ 型式の読み方

K-SG-Ⅲ-TA型

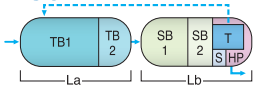
- K-SG：円筒の断面形状
- Ⅲ：放流水質
- T：処理方式
- A：槽の配列

槽の配列

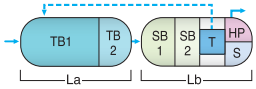
K-SG-Ⅲ-TA



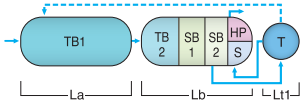
K-SG-Ⅲ-TB



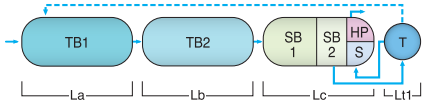
K-SG-Ⅲ-TC



K-SG-Ⅲ-TE



K-SG-Ⅲ-TG1

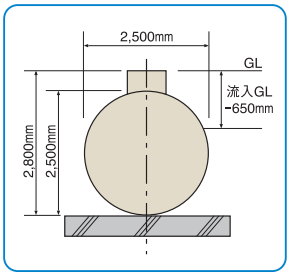


記号の説明

- TB1 沈殿分離槽（第1室）
- TB2 沈殿分離槽（第2室）
- SB1 接触ばっ気槽（第1室）
- SB2 接触ばっ気槽（第2室）
- T 沈殿槽
- S 消毒槽
- HP 放流ポンプ槽

※原水ポンプ槽・水中ブロワ槽もオプションでご用意致しております。

断面寸法図



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人･日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hrの場合）

処理対象人員（人）	配　列	汚水量（m³/日）	計画スペース（mm）		槽本体全長（mm）				必要電気容量（kW）
			W	L	La	Lb	Lc	Lt1	
51	TA	10.2	3,600	8,150	7,550	—	—	—	1.35
55	TA	11.0	3,600	8,550	7,950	—	—	—	1.35
60	TA	12.0	3,600	9,000	8,400	—	—	—	1.35
65	TA	13.0	3,600	9,650	9,050	—	—	—	1.35
70	TA	14.0	3,600	10,150	9,550	—	—	—	1.35
75	TA	15.0	3,600	10,800	10,200	—	—	—	1.35
80	TA	16.0	3,600	11,250	10,650	—	—	—	1.35
	TB	16.0	3,600	12,350	6,550	4,700	—	—	1.35
85	TB	17.0	3,600	12,800	6,850	4,850	—	—	1.35
90	TB	18.0	3,600	13,300	7,250	4,950	—	—	1.35
95	TC	19.0	3,600	14,800	7,600	6,100	—	—	2.1
100	TC	20.0	3,600	15,350	8,000	6,250	—	—	2.1
105	TC	21.0	3,600	15,750	8,250	6,400	—	—	2.1
110	TE	22.0	3,600	16,850	5,800	7,450	—	2,000	2.1
115	TE	23.0	3,600	17,150	5,950	7,600	—	2,000	2.1
120	TE	24.0	3,600	17,600	6,150	7,850	—	2,000	2.1
125	TE	25.0	3,600	18,050	6,300	8,150	—	2,000	2.1
130	TE	26.0	3,600	18,950	6,450	8,400	—	2,500	2.1
135	TE	27.0	3,600	19,300	6,650	8,550	—	2,500	2.1
140	TE	28.0	3,600	19,700	6,800	8,800	—	2,500	2.1
145	TE	29.0	3,600	20,150	7,000	9,050	—	2,500	2.1
150	TE	30.0	3,600	20,550	7,150	9,300	—	2,500	2.1
160	TE	32.0	3,600	21,400	7,500	9,800	—	2,500	2.1
170	TE	34.0	3,600	22,250	7,850	10,300	—	2,500	2.8
180	TE	36.0	3,600	22,950	8,150	10,700	—	2,500	2.8
190	TG1	38.0	3,600	25,000	8,500	4,450	7,450	2,500	3.1

※必要電気容量は「ばっ気ブロワ（単独運転想定）」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。

注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

クボタ大型浄化槽

接触ばっ気方式

101~500 人槽 | 汚水量(㎥/日) 10.1~138 | 流量調整槽 | 告示 第6第二号

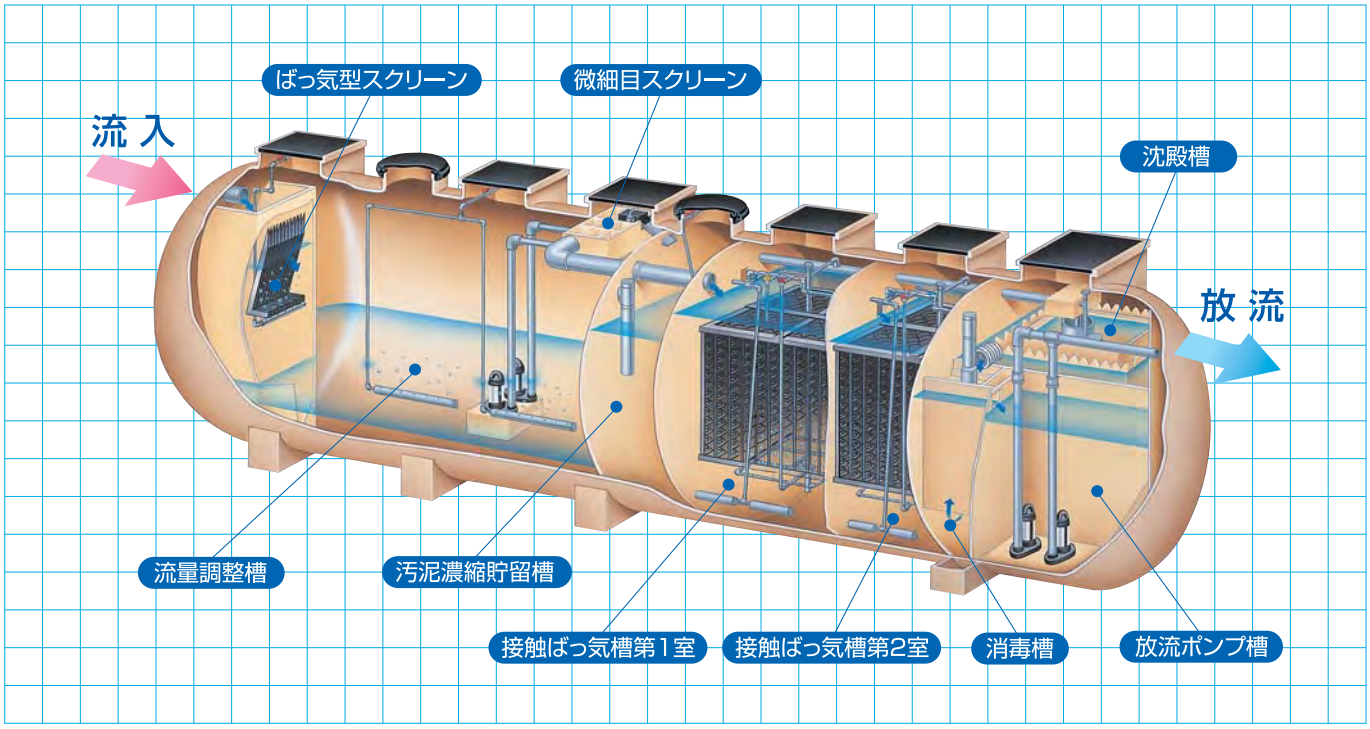
K-SG-Ⅲ-R型

◎設計条件

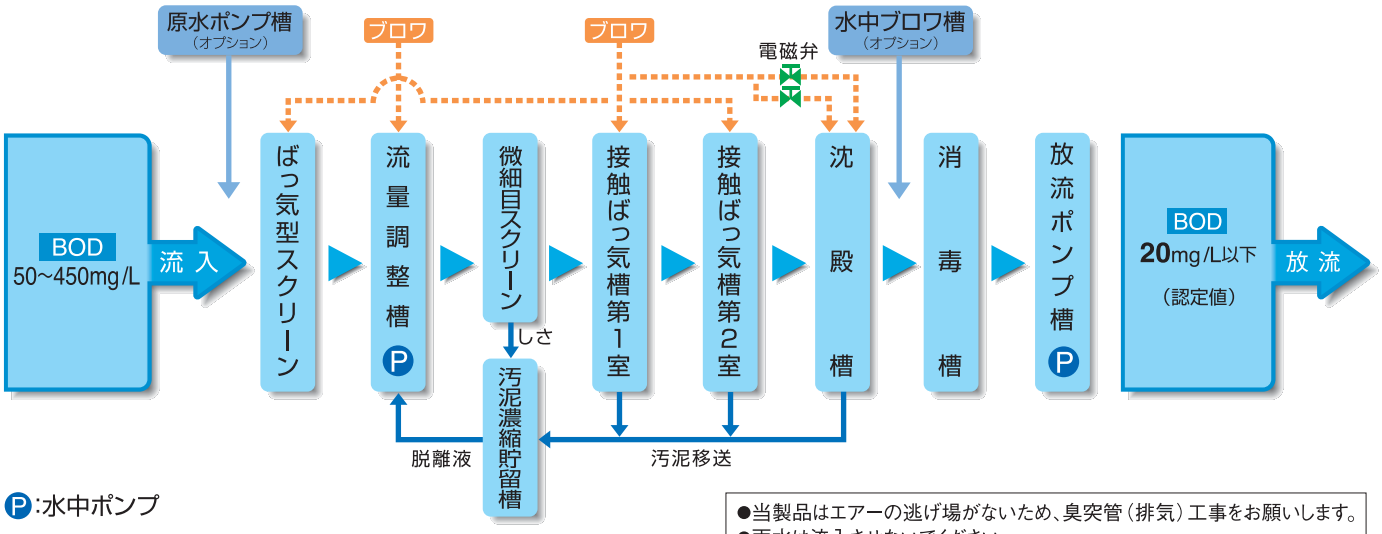
	流入水	放流水(認定値)
BOD	50~450mg/L	20mg/L以下

- 101～500人までの中・大規模施設に適しています。
- 定評ある流量調整＋接触ばっ気方式を採用。安定した処理水質が期待できます。
- メンテナンスも容易に行えます。

断面パース図



フローシート(処理工程図)



P:水中ポンプ

メンテナンス	保守点検	汚泥引き抜き
	1回/2週	1回/1週～1ヶ月

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管(排気)工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

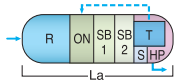
■ 型式の読み方

K-SG-Ⅲ-RA型

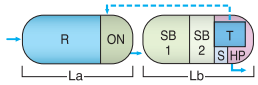
- K-SG-Ⅲ-RA型
  - 円筒の断面形状
  - 放流水質
  - 槽の配列
  - 処理方式

槽の配列

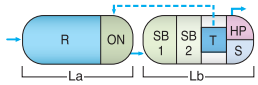
K-SG-Ⅲ-RA



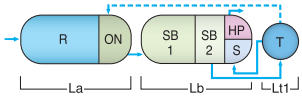
K-SG-Ⅲ-RB



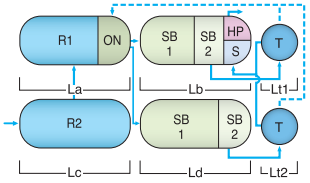
K-SG-Ⅲ-RC



K-SG-Ⅲ-RE



K-SG-Ⅲ-RJ

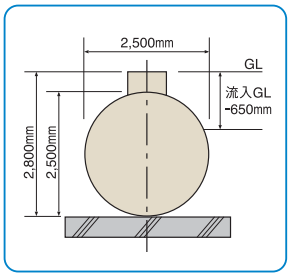


記号の説明

- R 流量調整槽
- SB1 接触ばっ気槽（第1室）
- T 沈殿槽
- HP 放流ポンプ槽
- ON 汚泥濃縮貯留槽
- SB2 接触ばっ気槽（第2室）
- S 消毒槽

※原水ポンプ槽・水中ブロワ槽も
オプションでご用意致しております。

断面寸法図



◎設計条件（日平均汚水量 200L/人･日、流入水BOD 200mg/L、排水時間 12hrの場合）

処理対象人員（人）	配　列	汚水量（m³/日）	計画スペース（mm）		槽本体全長（mm）						必要電気容量（kW）
			W	L	La	Lb	Lc	Ld	Lt1	Lt2	
101	RA	20.2	3,600	9,500	8,900	—	—	—	—	—	1.98
	RB	20.2	3,600	10,650	4,200	5,350	—	—	—	—	1.98
110	RA	22.0	3,600	10,100	9,500	—	—	—	—	—	1.98
	RB	22.0	3,600	11,200	4,450	5,650	—	—	—	—	1.98
120	RC	24.0	3,600	12,650	4,750	6,800	—	—	—	—	2.73
130	RC	26.0	3,600	13,300	5,000	7,200	—	—	—	—	2.73
	RD	26.0	3,600	13,100	10,000	—	—	—	2,000	—	2.73
140	RC	28.0	3,600	13,850	5,300	7,450	—	—	—	—	2.73
	RE	28.0	3,600	14,720	5,300	5,820	—	—	2,000	—	2.73
150	RE	30.0	3,600	15,300	5,550	6,150	—	—	2,000	—	2.73
160	RE	32.0	3,600	15,900	5,850	6,450	—	—	2,000	—	2.73
170	RE	34.0	3,600	16,550	6,150	6,800	—	—	2,000	—	2.78
180	RE	36.0	3,600	17,050	6,400	7,050	—	—	2,000	—	2.78
190	RE	38.0	3,600	18,250	6,700	7,450	—	—	2,500	—	2.78
200	RE	40.0	3,600	18,700	6,950	7,650	—	—	2,500	—	3.53
220	RE	44.0	3,600	20,000	7,500	8,400	—	—	2,500	—	3.53
240	RE	48.0	3,600	21,100	8,050	8,950	—	—	2,500	—	3.53
260	RE	52.0	3,600	22,300	8,600	9,600	—	—	2,500	—	3.63
280	RE	56.0	3,600	24,050	9,700	10,250	—	—	2,500	—	3.63
300	RJ	60.0	6,600	13,650	5,250	5,250	6,400	5,800	2,000	2,000	3.63
320	RJ	64.0	6,600	14,050	5,500	5,500	6,550	5,950	2,000	2,000	3.63
340	RJ	68.0	6,600	14,600	5,800	5,800	6,800	6,200	2,000	2,000	3.98
360	RJ	72.0	6,600	15,100	6,050	6,100	7,050	6,450	2,000	2,000	3.98
380	RJ	76.0	6,600	16,300	6,350	6,400	7,450	6,850	2,500	2,500	3.98
400	RJ	80.0	6,600	16,800	6,650	6,650	7,650	7,050	2,500	2,500	5.48
420	RJ	84.0	6,600	17,400	6,900	6,950	8,000	7,400	2,500	2,500	5.48
440	RJ	88.0	6,600	18,100	7,200	7,200	8,400	7,800	2,500	2,500	5.48
460	RJ	92.0	6,600	18,850	7,700	7,750	8,650	8,050	2,500	2,500	5.48
480	RJ	96.0	6,600	19,450	8,000	8,000	8,950	8,300	2,500	2,500	5.48
500	RJ	100.0	6,600	20,000	8,250	8,300	9,250	8,650	2,500	2,500	7.28

※必要電気容量は「撹拌ブロワ」「ばっ気ブロワ（単独運転想定）」「流量調整ポンプ」「放流ポンプ」の電気容量を合計したものです。
注1 型式認定番号、型式適合認定番号は弊社の窓口までお問い合わせ下さい。ホームページにも掲載致しております。

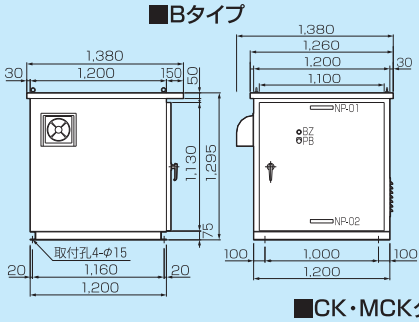
関連商品 ※送料別

機械室

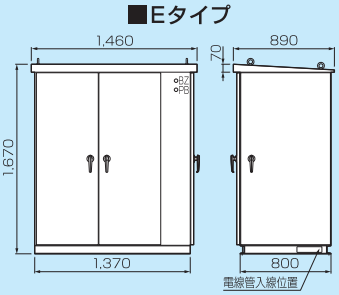
構造図

(mm)

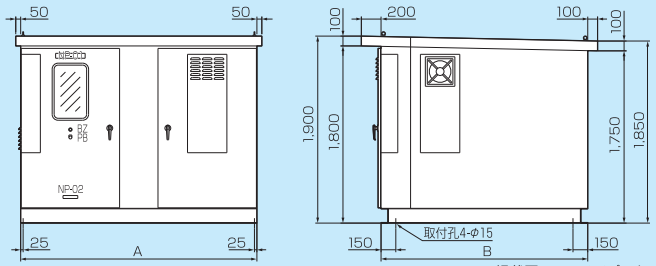
■Bタイプ



■Eタイプ

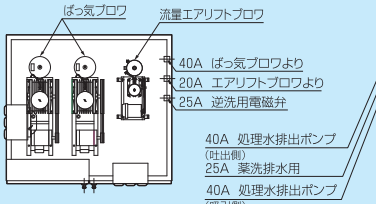


■CK・MCKタイプ

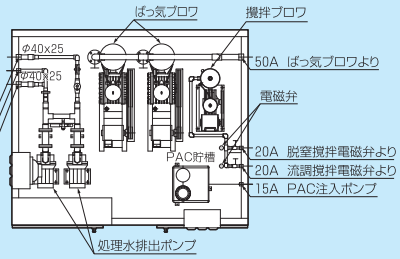


※掲載図はMCKタイプです。

■CKタイプ



■MCKタイプ



仕様概要（キュービクルタイプ）

型　式	対応機種	サイズ（mm）			製品重量 (kg)
		幅A	奥行きB	高さ	
B	K-SG-Ⅲ-(T)型	1,200	1,200	1,295	350
E	K-HC-T/R型	1,370	800	1,670	450
CK-1	K-HC-T/R型	1,200	1,500	1,900	550
	K-SG-Ⅲ-(T/R)型	1,200	1,500	1,900	550
CK-2	K-HC-T/R型	1,700	1,500	1,900	700
	K-SG-Ⅲ-(T/R)型	1,700	1,500	1,900	700
CK-3	K-HC-T/R型	1,900	1,900	1,900	900
	K-SG-Ⅲ-(T/R)型	1,900	1,900	1,900	900
MCK-24	KM型	2,400	2,100	1,900	1,150
MCK-26	KM型	2,600	2,100	1,900	1,300
MCK-30	KM型	3,000	2,100	1,900	1,400
MCK-34	KM型	3,400	2,100	1,900	1,550
MCK-38	KM型	3,800	2,100	1,900	1,700
MCK-40	KM型	4,000	2,100	1,900	1,750
MCK-42	KM型	4,200	2,100	1,900	1,800

※本体重量には制御回路、機器、配管類は含みません。

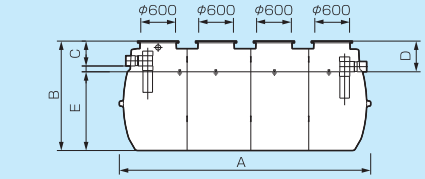
クボタ油水分離槽（UBD・UBN型）

- 浄化槽の安定処理の為、油分の多い施設には必要不可欠。
- 厨房排水専用設置が可能な独立タイプと内蔵タイプが有ります。

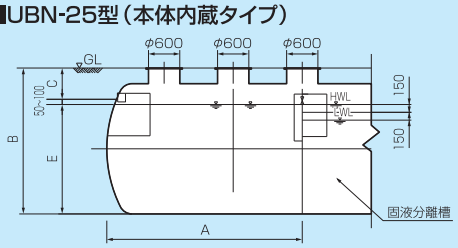
構造図

(mm)

■UBD-20・25型（独立タイプ）



■UBN-25型（本体内蔵タイプ）



仕様概要

型　式		UBD-20	UBD-25	UBN-25
汚　水　量（m³/日）		21.8	32.5	25.0
本体寸法 (mm)	長さA	4,000		3,000
	幅	2,050	2,500	
	高さB※1	2,350	2,800	
マンホール・チェッカープレート mm(個)		φ600(3)		φ600(2)
マンホールカバー材質		FRPまたはレジンコンクリートまたは鋳鉄		
流入・放流管径(mm)		φ150		
流入管底C※1(mm)		570	650	600
放流管底D(mm)		620	700	—
有効水深E(mm)		1,700	2,100	
有効容量(m³)		10.9	16.2	12.5

※1 かさあげ300mm以下

- 当製品はエアーの逃げ場がないため、臭突管（排気）工事をお願いします。
- 雨水は流入させないでください。
- 油脂分の多い排水は油水分離槽での事前処理を行ってください。
- 温泉排水は流入させないでください。
- 取扱説明書をよくお読みください。

ポンプ仕様概要（K-SG型・K-HC-T/R型・KM-SG-B/NP型用）

型　式	口 径 (mm)	出 力 (kW)	水 量 (m^3/min)	揚 程 (m)	着脱装置名称	用　途
40PU2.15	40	0.15	0.10	3	TOK4-P	原水ポンプ 他
40PU2.25	40	0.25	0.15	3	TOK4-P	原水ポンプ 他
50PU2.4	50	0.40	0.20	5	TOK4-P	原水ポンプ 他
50PU2.75	50	0.75	0.30	4	TOK4-P	原水ポンプ 他
65PU21.5	65	1.50	0.49	6	TOK2-65	原水ポンプ 他
40PN2.25	40	0.25	0.15	3		放流ポンプ※1
50PN2.4	50	0.40	0.20	5		放流ポンプ※1
50PN2.75	50	0.75	0.30	4		放流ポンプ※1
50PN21.5	50	1.50	0.49	5		放流ポンプ※1

※　フロートはK-SG型・K-HC-T/R型・KM-SG-B/NP型用がRF-5となります。
※1 放流ポンプではフランジ接合が標準です。

ブロワ仕様概要（ロータリー式）

機　種	風 量 (m^3/min)	口 径 (mm)	動 力 (kW)
SD-120S	0.12	15	0.20（0.15※）
SD-150S	0.15	20	0.20
SD-200S	0.20	20	0.25
FD-250S	0.25	20	0.30
FD-300	0.30	20	0.40
HC-251S	0.30	20	0.40
HC-30S	0.34	25	0.40
HC-301S	0.41	25	0.75
HC-301H	0.51	25	0.75
HC-40S	0.65	32	0.75
HC-401S	0.77	32	1.50
HC-50S	1.12	40	1.50
HC-501S	1.42	40	2.20
HC-501H	1.60	40	2.20
HC-60S	1.87	50	2.20
HC-60H	2.20	50	2.20
HC-601S	2.50	50	3.70

※100Vの場合

ブロワ仕様概要（ルーツ式）

機　種	回転数 (rpm)	風 量 (m^3/min)	口 径 (mm)	動 力 (kW)
BSR20A	1,250	0.15	20	0.20
	1,500	0.20	20	0.25
	1,750	0.25	20	0.30
	2,000	0.30	20	0.40
BSR25B	2,000	0.35	25	0.40
BSR25A	2,600	0.50	25	0.75
BSR32A	2,600	0.65	32	0.75
	3,000	0.80	32	1.50
BSR40B	2,300	1.10	40	1.50
	2,800	1.40	40	1.50
BH50	1,200～1,550	1.42～2.05	50	1.50
	1,600～1,700	2.14～2.32	50	2.20
BH65	1,450～1,700	2.42～3.05	65	2.20
BH80	1,200～1,250	3.21～3.39	80	2.20
	1,300～1,700	3.57～5.01	80	3.70
BH100	1,350～1,550	5.06～6.03	100	3.70
	1,600～1,950	6.32～8.07	100	5.50

その他

制御盤

		標　準	オプション
型　式	K-HC-T型	壁　掛　型	自立型/キュービクル型
	K-SG-Ⅱ-T型	壁　掛　型	自立型/キュービクル型
	K-HC-R型	自　立　型	キュービクル型
	K-SG-Ⅱ-R型	自　立　型	キュービクル型
	KM型	自　立　型	キュービクル型
外部警報（有電圧・無電圧）		○	ー
ブ　ザ　ー		○	ー
バトライト		ー	○
コンデンサー		ー	○
電　圧		200V	100V
塗　装　色		マンセル5Y7/1	指　定　色

かさあげパイプ（300H）

	サイズ (mm)	メーカー希望価格（円）消費税抜	備　考
マンホール	φ600	9,400	PVCまたはFRP＋枠
チェッカープレート	600×1,000	45,000	
	600×1,200	50,000	
	1,200×1,200	71,800	
	750×1,150	50,000	
	750×1,650	71,800	

マンホール・チェッカープレート

	サイズ (mm)	荷　重	仕　様	メーカー希望価格（円）消費税抜	フタ材質	用　途
マンホール	φ600	1,500k	3t以下のトラック等	52,800	FC製／FRP製	沈殿分離槽、流量調整槽、汚泥（濃縮）貯留槽、固液分離槽、嫌気ろ床槽、担体流動槽
		5,000k	10t以下のトラック等	55,000	FCD製	
チェッカープレート	600×1,000	1,500k	3t以下のトラック等	128,000	FC製	接触ばっ気槽、流量調整槽（KM-SG-B用ばっ気型スクリーン、ポンプ）、消毒/放流ポンプ槽、流調計量ボックス上部（嫌気ろ床槽）、計量ボックス付なし原水ポンプ槽
		1,500k	3t以下のトラック等	115,000	FRP製	
		5,000k	10t以下のトラック等	150,000	FCD製	
	600×1,200	1,500k	3t以下のトラック等	140,000	FC製／FRP製	流量調整槽（微細目スクリーン）、KM-SG-NP用ばっ気型スクリーン及びポンプ、流調計量ボックス上部（嫌気ろ床槽）、担体ろ過/処理水槽
		5,000k	10t以下のトラック等	165,000	FCD製	
	1,200×1,200	1,500k	3t以下のトラック等	270,000	FC製	計量ボックス付き原水ポンプ槽、RA型流量調整槽、TA・RA型以外の沈殿槽
		5,000k	10t以下のトラック等	345,000	FCD製	
	750×1,150	1,500k	3t以下のトラック等	148,000	FC製／FRP製	膜分離型膜セット上部（ばっ気槽、硝化槽）
		5,000k	10t以下のトラック等	196,000	FCD製	
	750×1,650	1,500k	3t以下のトラック等	212,000	FC製	TA・RA型沈殿槽
		5,000k	10t以下のトラック等	266,000	FCD製	

参考資料

流入管底と原水ポンプ槽の選定について

流入管底GL−（mm）

原水ポンプ槽 有無	カサ上げ（mm）	管底下げ（mm）（本体鏡部位置）	K-HC-T型 ※1	K-HC-R型	K-SG-T型	K-SG-R型・KM-SG-B型 KM-SG-NP型
無し（不要）	0（無し）	0	650			
	50～300	0	700～950			
	300	50～250	1,000～1,200	−	−	
	300	50～750	−	1,000～1,700	−	1,000～1,400
	300	300	−	−	−	−
一体型原水ポンプ槽付 ※2	0（無し）	−	1,000～1,400			
	50～300	−	1,450～1,700			
別置型縦ϕ原水ポンプ槽	0（無し）	−	1,750～2,200			

※1：管底下げ、かさ上げは50mmピッチです。管底下げの計画では1次処理槽の有効断面積が減少する分だけ本体長さが長くなります。
また、流調エアリフトブロワの風量も増大します。ピークの大きい（排水時間が8時間より短い）場合、また、流入管が水没し易い現場条件では、管底下げ 設計は避けて下さい。
その替わり、送水が確実な一体型原水ポンプ槽等を選定下さい。K-HC-T型は160人槽32m³/日以上の規模では、1,200mmの管底下げ設計より,一体型原水ポンプ槽の場合の本体長さが短くなります。

※2：一体型原水ポンプ槽は本体長さが10.7mを越えると、輸送上の制限から、選定できません。その場合、別置型原水ポンプ槽を選定します。これらは、自動設計システムで選定されます。

クボタ液中膜® 保証システム（有償契約）について

膜の点検や各種部品の交換など、長期にわたり安心して液中膜®をご使用いただくためのサポートシステムです。
経済的なメンテナンスで、つねに安定した水処理環境を維持します。

●システムの特長

1.液中膜®の稼働開始から最長10年間、その機能を保証します。
2.遠隔監視で浄化槽の運転状況を2回/日チェックします。
3.年1回の総合点検で性能・機能の状態を測定し、正常な運転を維持します。
4.膜交換作業や膜交換部品の費用はシステムに含まれ、契約期間中は膜カートリッジの費用負担がありません。

※当保証システムでは浄化槽全体の保守点検業務は対象外となります（通常の保守点検は別途ご契約願います）。
※膜の薬品洗浄作業は保証システムに含まれておりません。
※定期部品供給はチューブ、押えゴムが対象です。

クボタ液中膜® リース契約について

クボタ液中膜®の導入時に必要な初期負担を軽減し、資産管理業務や保守管理業務のわずらわしい手間を解消するために。
ニーズに応じた3つのパッケージ商品をご用意しました。

排水処理に必要なすべてをパッケージ	排水処理の装置のみを一式リース	液中膜®のみを追加導入される場合に
① フルパッケージメンテナンスリース	② 排水処理装置ファイナンスリース	③ クボタ液中膜®メンテナンスリース
浄化槽本体＋制御盤等周辺機器＋液中膜®＋保守サービス	浄化槽本体＋制御盤等周辺機器＋液中膜®	液中膜®＋保守サービス

※保守については別途契約が必要です。

上記契約以外にも排水処理装置（浄化槽本体・制御盤等周辺機器・液中膜®）を対象とした「割賦販売契約」や、工事費用を分割で支払う「支払委託契約」もご用意しています。

※リース契約に際しては提携リース会社所定の審査がございます。
※浄化槽本体をリース契約に含める場合は地上に設置されることが条件となります。

施工および維持管理について

●施工について

⚠電気機器における感電・発火事故防止

- アースが必要なブロワ・制御盤などの機器については、必ずアース工事をしてください。
- ブロワの電源は、防水型コンセントをご使用下さい。

⚠マンホール・点検口における転落事故、損害事故防止

- 工事中は必要なとき以外はマンホール・点検口などの蓋を必ず閉めて下さい。
- マンホール・点検口などのひび割れ・ロックの破損などを発見したら、直ちに取り替えてください。
- 上部積載物に見合ったマンホールを選定してください。
- 樹脂製の枠に鋳鉄製の蓋を載せないでください。

⚠施工現場における落下・傷害事故防止

- 槽の吊り上げ・据え付け作業では、玉掛けを確実に実施してください。
- 作業中は槽の下には立ち入らないでください。

⚠施工現場における転落事故防止

- 作業時に槽本体に直接のると、滑りやすく転落する危険があります。足場板などを使用して作業を行ってください。
- 埋設工事に際して、穴の周囲には、防護柵をつくり関係者以外立ち入らないようにしてください。

⚠警 告 この表示を無視して取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠注 意 この表示を無視して取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●維持管理について

⚠消毒剤による発火・爆発・有毒ガス事故防止

- 消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤の取扱説明書に従ってください。
- 消毒剤には、塩素系の無機・有機の2種類があります。これらを一緒に薬剤筒に入れないでください。
- 取扱いに際しては保護具を必ず着用してください。

⚠作業中の酸欠などの事故防止

- 槽内に入る場合は、必ず酸素濃度・硫化水素濃度を測定し、その安全を確かめてください。また、槽内で作業するときは常に換気を行ってください。

⚠感電・発火・巻き込まれ事故防止

- ブロワ・制御盤などの機器の近く（約50cm）には、ものを置かないでください。特に可燃物や危険物は遠ざけてください。
- 電源コードの上には物を置かないでください。
- 回転物の近くで作業をする際には、必ずその機器を停止させてから作業してください。

⚠マンホール・点検口などからの転落・傷害事故防止

- 作業終了後、マンホール・点検口などの蓋は必ず閉めてください。蓋がずれている場合はミゾにきちんとはめ、ロック機構のあるものは必ずロックしてください。
- マンホール・点検口などの蓋のひび割れ・ロックの破損など異常を発見したら、直ちに取り替えてください。溶接部分は溶接しなおしてください。
定期的に錆を除去して塗装してください。
- 枠内にたまった小石などの異物は取り除いてください。

クボタの膜分離技術が注目を集めています。

液中膜

「液中膜®」はクボタの高度な水処理技術と、独自の膜技術が生みだした特許技術です。

事業場排水でも高い評価をいただいています。

透　析

型式
KM-SG-B型
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
12m³/日
処理水質
BOD 30mg/L以下

●透析センター

食品加工

型式
RC造
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
450m³/日
処理水質
BOD 10mg/L以下

●JA関連施設

給　食

型式
KM-SG-B型
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
20m³/日
処理水質
BOD 20mg/L以下

●給食センター

除害施設

型式
KM-SG-B型
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
18.5m³/日
処理水質
BOD 600mg/L以下

●病院

酒　造

型式
RC造
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
80m³/日
処理水質
BOD 20mg/L以下

●酒造メーカー

つねにクリーンな水循環が、求められる地域に。

油脂対策

型式
KM-SG-B型
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
60m³/日
人槽
2,612人
処理水質
BOD 5mg/L以下

●焼肉店

放流水質規制

型式
KM-SG-NP型
処理方式
膜分離活性汚泥方式（窒素・リン除去）
汚水量
130m³/日
人槽
896人
処理水質
BOD 5mg/L　T-N 10mg/L COD 10mg/L　T-P 0.5mg/L 以下

●郊外施設

狭小地

型式
KM-SG-B型
処理方式
膜分離活性汚泥方式
汚水量
55m³/日
人槽
350人
処理水質
BOD 5mg/L　T-N 10mg/L COD 10mg/L　T-P 1mg/L 以下

●病院・福祉施設

建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準（JIS A 3302−2000）

1. 適用範囲
この規格は、建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準について規定する。

2. 建築用途別処理対象人員算定基準
建築物の用途別によるし尿浄化槽の処理対象人員算定基準は、表のとおりとする。ただし、建築物の使用状況により、表が明らかに実状に添わないと考えられる場合は、この算定人員を増減することができる。

3. 特殊の建築用途の適用
3.1 特殊の建築用途の建築物又は定員未定の建築物については、表に準じて算定する。

3.2 同一建築物が2以上の異なった建築用途に供される場合は、それぞれの建築用途の項を適用加算して処理対象人員を算定する。

3.3 2以上の建築物が共同でし尿浄化槽を設ける場合は、それぞれの建築用途の項を適用加算して処理対象人員を算定する。

3.4 学校その他で、特定の収容される人だけが移動することによって、2以上の異なった建築用途に使用する場合には、3.2及び3.3の適用加算又は建築物ごとの建築用途別処理対象人員を軽減することができる。

類似用途別番号	建築用途				処理対象人員 算定式	処理対象人員 算定単位	1日の排水時間（h）	算定単位当たりの汚水量及びBOD濃度参考値 合併処理対象 汚水量	算定単位当たりの汚水量及びBOD濃度参考値 合併処理対象 BOD
1	集会場施設関係	イ	公会堂・集会場・劇場 映画館・演芸場		n＝0.08A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	公会堂・集会場 8 劇場・演芸場 10 映画館 12	16 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ロ	競輪場・競馬場 競艇場		n＝16c	n：人員（人） c：総便器数（個）	10	2,400 （L／個・日）	260 （mg／L）
		ハ	観覧場・体育館		n＝0.065A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	15	10 （L／m²・日）	260 （mg／L）
2	住宅施設関係	イ	住宅	A≦130の場合	n＝5	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	12	1,000 （L／戸・日）	200 （mg／L）
				130＜Aの場合	n＝7			1,400 （L／戸・日）	
					浴室及び台所が2つ以上ある住宅の処理水量は200L/人・日とする。（10人槽相当）				
		ロ	共同住宅		n＝0.05A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）　※1	12	10 （L／m²・日）	200 （mg／L）
		ハ	下宿・宿舎		n＝0.07A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	8	14 （L／m²・日）	140 （mg／L）
		ニ	学校寄宿舎 自衛隊キャンプ宿舎 老人ホーム・養護施設		n＝P	n：人員（人） P：定員（人）	8 （但し老人ホーム　10）	200 （L／人・日）	200 （mg／L）
3	宿泊施設関係	イ	ホテル 旅館		n＝0.15A	結婚式場・宴会場有 n：人員（人） A：延べ面積（m²）	10	30 （L／m²・日）	200 （mg／L）
					n＝0.075A	結婚式場・宴会場無 n：人員（人） A：延べ面積（m²）	10	30 （L／m²・日）	100 （mg／L）
		ロ	モーテル		n＝5R	n：人員（人） R：客室数	10	1,000 （L／室・日）	50 （mg／L）
		ハ	簡易宿泊所・合宿所 ユースホステル 青年の家		n＝P	n：人員（人） P：定員（人）	8	200 （L／人・日）	200 （mg／L）
4	医療施設関係	イ	病院 療養所 伝染病院	業務用の厨房設備又は洗濯設備を設ける場合 300床未満の場合	n＝8B	n：人員（人） B：ベッド数（床）	12	B×1,000 （L／床・日）	320 （mg／L）
				業務用の厨房設備又は洗濯設備を設ける場合 300床以上の場合	n＝11.43（B−300）＋2,400			B×1,300 （L／床・日）	
				業務用の厨房設備又は洗濯設備を設けない場合 300床未満の場合	n＝5B			B×1,000 （L／床・日）	150 （mg／L）
				業務用の厨房設備又は洗濯設備を設けない場合 300床以上の場合	n＝7.14（B−300）＋1,500			B×1,300 （L／床・日）	
		ロ	診療所・医院		n＝0.19A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	8	25 （L／m²・日）	300 （mg／L）
5	店舗関係	イ	店舗・マーケット※3		n＝0.075A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	8	15 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ロ	百貨店		n＝0.15A		8	30 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ハ	飲食店	一般の場合	n＝0.72A		8	130 （L／m²・日）	220 （mg／L）
				汚濁負荷の高い場合	n＝2.94A			260 （L／m²・日）	450 （mg／L）
				汚濁負荷の低い場合	n＝0.55A			110 （L／m²・日）	200 （mg／L）
		ニ	喫茶店		n＝0.80A		10	160 （L／m²・日）	150 （mg／L）
6	娯楽施設関係	イ	玉突場・卓球場		n＝0.075A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	8	15 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ロ	パチンコ店		n＝0.11A		12	22 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ハ	囲碁クラブ マージャンクラブ		n＝0.15A		8	30 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ニ	ディスコ		n＝0.50A	n：人員（人） A：延べ面積（m²）	6	100 （L／m²・日）	150 （mg／L）
		ホ	ゴルフ練習場		n＝0.25S	n：人員（人） S：打席数（数）	10	50 （L／席・日）	150 （mg／L）
		ヘ	ボーリング場		n＝2.50L	n：人員（人） L：レーン数（レーン）	10	500 （L／レーン・日）	150 （mg／L）
		ト	バッティング場		n＝0.20S	n：人員（人） S：打席数（席）	10	40 （L／席・日）	150 （mg／L）

類似用途別番号	建築用途					処理対象人員		1日の排水時間（h）	算定単位当たりの汚水量及びBOD濃度参考値	
						算定式	算定単位		合併処理対象 汚水量	合併処理対象 BOD
6	娯楽施設関係	チ	テニス場			ナイター設備無 n＝2S	n：人員（人） S：コート面数（面）	10	400（L／面・日）	150（mg／L）
						ナイター設備有 n＝3S		10	600（L／面・日）	
		リ	遊園地・海水浴場			n＝16C	n：人員（人） C：便器数（個）	7	2,400（L／個・日）	260（mg／L）
		ヌ	プール・スケート場			$n=\frac{20C+120U}{8}\times t$	n：人員（人） C：大便器数（個） U：小便器数（個） ※2 t：単位便器あたり1日平均使用時間（時間） t ＝1.0～2.0	10	－	150（mg／L）
		ル	キャンプ場			n＝0.56P	n：人員（人） P：収容人員（人）	8	70（L／人・日）	320（mg／L）
		ヲ	ゴルフ場			n＝21H	n：人員（人） H：ホール数（ホール）	10	250（L／人・日）	130（mg／L）
7	駐車場関係	イ	サービスエリア	便所	一般部	n＝3.60P	n：人員（人） P：駐車ます数（ます）	12	480（L／ます・日）	300（mg／L）
					観光部	n＝3.83P			510（L／ます・日）	
					売店なしPA	n＝2.55P			340（L／ます・日）	
				売店	一般部	n＝2.66P			180（L／ます・日）	590（mg／L）
					観光部	n＝2.81P			190（L／ます・日）	
		ロ	駐車場 自動車車庫			$n=\frac{20C+120U}{8}\times t$	n：人員（人） C：大便器数（個） U：小便器数（個） ※2 t：単位便器あたり1日平均使用時間（時間） t ＝0.4～2.0	12	－	－
		ハ	ガソリンスタンド			n＝20	n：人員（人） 1営業所当たり	8	－	－
8	学校施設関係	イ	保育所・幼稚園 小学校・中学校			n＝0.20P	n：人員（人） P：定員（人）	8	50（L／人・日）	180（mg／L）
		ロ	高等学校・大学・各種学校			n＝0.25P	n：人員（人） P：定員（人）	8	60（L／人・日）	180（mg／L）
		ハ	図書館			n＝0.08A	n：人員（人） A：延べ面積（m^2）	5	16（L／m^2・日）	150（mg／L）
9	事務所関係	イ	事務所			n＝0.075A	厨房設備有 n：人員（人） A：延べ面積（m^2）	8	10（L／m^2・日）	200（mg／L）
						n＝0.06A	厨房設備無 n：人員（人） A：延べ面積（m^2）		10（L／m^2・日）	200（mg／L）
10	作業場関係	イ	工場 作業所 研究所 試験場			n＝0.75P	厨房設備有 n：人員（人） P：定員（人）	工場・作業所 交替勤務無 8 交替有 12～24 研究所・試験所 8	100（L／人・日）	300（mg／L）
						n＝0.30P	厨房設備無 n：人員（人） P：定員（人）		60（L／人・日）	150（mg／L）
11	1～10の用途に属さない施設	イ	市場			n＝0.02A	n：人員（人） A：延べ面積（m^2）	10	4.2（L／m^2・日）	200（mg／L）
		ロ	公衆浴場			n＝0.17A	n：人員（人） A：延べ面積（m^2）	12	33（L／m^2・日）	50（mg／L）
		ハ	公衆便所			n＝16C	n：人員（人） C：総便器数（個）	12	2,400（L／個・日）	260（mg／L）
		ニ	駅 バスターミナル			乗降客10万人／日未満 n＝0.008P 乗降客10万人以上～20万人未満 n＝0.010P 乗降客20万人／日以上 n＝0.013P	n：人員（人） P：乗降客数（人／日）	始発～最終	－	－

※1.ただし、1戸当たりのnが、3.5人以下の場合は、1戸当たりのnを3.5人又は2人（1戸が1居室だけで構成されている場合に限る）とし、1戸当たりのnが6人以上の場合は1戸当たりのnを6人とする。
※2.女子専用便所にあっては、便器数のおおむね1/2を小便器とみなす。
※3.コンビニエンスストアで、おでん・揚げ物・シェーク等、一般に汚泥負荷の高いファーストフードを提供する場合は〔ロ〕のn=0.15Aを適用する。

■類似建築用途（浄化槽の設計・施工上の運用指針2002年版より抜粋）

類似用途別番号		建築用途
1	イ	公民館、自治会館、葬祭場、斎場、神社、寺院、教会、宗教関係の集会場
	ハ	野球場、陸上競技場、サッカー場、室内トレーニング場、室内ゲートボールセンター、フィットネスクラブ、エアロビックスダンス場
2	ロ	リゾートマンション、長屋
	ハ	社員寮、グループホーム
	ニ	宿泊のある授産施設、刑務所、デイサービス
3	イ	結婚式場、宴会場が主たる用途の建築物
	ロ	個室付き浴場、ラブホテル
	ハ	宿泊を伴う研修所、カプセルホテル、精神病院（長期療養）
4	ロ	針灸院、整骨院、マッサージ所、犬猫病院、動物病院
5	イ	理容院、美容院、コインランドリー、自販機により飲食させる店舗、ファーストフードの客席部分、持ち帰り専用弁当店、持ち帰り専用寿司店の販売部分、ペットショップ、ホームセンター、クリーニング店、おでん等負荷の高いファーストフードを提供しないコンビニエンスストア
	ロ	おでん等負荷の高いファーストフードを提供するコンビニエンスストア
	ハ	〈一般の場合〉 仕出屋、弁当屋、お好み焼き店、レストラン、バー、キャバレー、スナック、ビアホール、ビアガーデン、ファーストフードの厨房、手作り和洋菓子店の厨房 〈汚濁負荷の高い場合〉 中華料理専門店、焼肉店、洋食系料理専門店、弁当専門店の油物等が多い場合の厨房部分、ラーメン店 〈汚濁負荷の低い場合〉 そば店、うどん店、貸席、料亭、和食専門店、持ち帰り専用寿司店の厨房部分
6	ハ	カラオケボックス、カラオケルーム（飲食提供なし）
6	ニ	ダンスホール
	チ	屋外ゲートボール場
	リ	観光農園
8	イ	花・茶・ピアノ等教室、カルチャーセンター、塾、託児所、盲学校、ろう学校、養護施設、学童保育所
	ロ	自動車教習所、高等専門学校、予備校
	ハ	美術館、博物館、展示場
9	イ	銀行、庁舎、証券会社、郵便局、派出所、宿泊を伴わない研修所
10	イ	倉庫、アトリエ、卸売り店舗、宿泊の無い授産施設、郵便局の作業部分
11	ロ	サウナバス、健康ランド浴場、レジャー浴場（適切な流量調整槽などの配慮必要）
	ハ	ハウジングセンター内便所、公園便所

お客様各位

1. 浄化槽を設置するに際して

都道府県に登録している専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者と次のような事項について打ち合わせてください。

- ●浄化槽の機種の選定、処理対象人員（処理水量）、放流先及び放流水質の規制値
- ●設置場所、特殊工事の有無
- ●設置届けなど

注意 **（ア）特殊工事を必要とする場合の例**

＊設置場所を、車庫・駐車場などに使用する場合。

＊設置場所が、断崖・川べり、交通量の多い道路ばた、軟弱地盤、多雪地帯、近隣の建造物の荷重が影響する場所など。

＊地下水などがでる場所。

（イ）浄化槽工事着手の制限について

＊型式浄化槽は設置届けが受理された日から10日間経過した後、工事に着手してください。
（この期間は、受理当日の初日は計算しない）
（水質汚濁防止法の特定施設となるものは工事着手60日前までに申請する）

2. 浄化槽設置工事は、都道府県に登録されている専門の（浄化槽設備士の資格をもつ）工事業者に依頼してください。

3. 浄化槽の維持管理は、都道府県に登録されている「保守点検業者」と契約してください。

＊保守点検は、浄化槽管理士の資格をもった人が行わなければなりません。……（有料）

＊浄化槽の汚泥引き抜きなどの清掃は、市町村長の許可を受けた浄化槽清掃業者に依頼してください。……（有料）

4. 浄化槽へは生活排水のみが流入できます。例えば雨水や産業排水は流入させないでください。

ご使用に際して

1 ブロワの電源は切らないでください。この電源を切ると槽内に空気が送り込まれなくなり、微生物が死んでしまうため、汚物が浄化されずに悪臭が発生します。

2 便器には異物（ゴム製品や脱脂綿類）を捨てないでください。パイプや槽が詰まるばかりでなく、浄化能力も低下します。また、台所から料理のくず片や天ぷら油を流さないでください。

3 トイレットペーパーには、水に溶けやすいものをご使用ください。また使用量が多すぎると槽内の清掃必要回数も増えますので、適量を使用してください。

4 槽内への薬品（塩酸・殺虫剤・防臭剤・塩素剤・硫黄系入浴剤など）投入は避けてください。多様な薬品が混入すれば、槽内の微生物が死んでしまい、汚物が浄化されません。また、消毒効果も薄れます。
※糖尿病の薬や抗生物質を服用した場合には、浄化効果が低下したり、浄化できなくなることがあります。

5 トイレご使用後には、必ず水を流してください。1人1日に約40～60Lの水をご使用になるのが標準です。節水便器をお使いの場合は、“小便時にも大レバー操作”や“使用の前後に水を流す”など維持管理業者の指示に従って、適正水量を流してください。
※合併浄化槽の平均的水使用量は、雑排水を合わせて、1人1日に200～250Lです。（2カ月で60m³が目安）

6 ⚠ マンホールの蓋は、必ず閉めてください。蓋がずれている場合は危険ですから、ミゾにきちんとはめ、ロック機構がある場合は必ずロックしてください。万一、異常が認められた場合（ひび割れ、破損など）は、蓋を取り替えてください。また、お子さまには十分注意して、決して浄化槽付近では遊ばせないでください。

⚠ 蓋を閉める場合には、専用開閉ハンドルのレンチ部分を使い、キャップナットを必ず均等に閉めてください。また、ワッシャ、パッキンなどの部品をなくさないように注意してください。

7 マンホールやブロワや電源コードの上に物を載せたり、周囲に物を置かないでください。とくに可燃物や危険物は遠ざけてください。

⚠注意！	マンホール蓋荷重選別の表示	用　途
	500K（安全荷重5kN）	乗用車（総重量2,000kg以下）
	1500K（安全荷重15kN）	2～3tトラック
	5000K（安全荷重50kN）	5～15tトラック

警告表示・安全上の注意

マークには以下のような意味があります。

⚠ **警告**　取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。

⚠ **注意**　取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険性及び物的損害の発生が想定されます。

【維持管理についての警告と注意】

⚠ **注意**　消毒剤による発火・爆発、有毒ガス事故防止

①消毒剤は強力な酸化剤です。消毒剤の説明書に従ってください。
②消毒剤には、塩素系の無機・有機の2種類があります。これらを一緒に薬剤筒に入れないでください。
これらの注意を怠ると、発火、爆発、有毒ガスを生ずるおそれがあります。

⚠ **注意**　消毒剤による器物破損事故防止

①浄化槽に入れる消毒剤は、浄化槽を使用開始するまでは開封しないでください。
②消毒剤を開封する前に浄化槽へ流入する排水元の設備、機器（トイレ、浴室、洗面台、台所など）のトラップ封水が切れていないことを確認してください。
③浄化槽直後の放流水には消毒のための塩素が含まれています。塩素成分がガス化する為、浄化槽直後のマスに穴あき蓋は使用しないでください。（穴からガスが出る恐れがあります。）また、浄化槽直後のマスに雨どいの排水管を接続しないでください。塩素ガスや臭気が管内を伝わり、上昇する恐れがあります。また、大雨時にはマスから浄化槽内に逆流する恐れがあります。
これらの注意を怠ると、消毒剤の塩素ガスによって設備、機器が腐食し器物破損、傷害を生ずるおそれがあります。

⚠ **警告**　作業中の酸欠などの事故防止

構内に入る場合は、必ず酸素濃度を確認して、作業中は常に換気に気をつけてください。
このような注意を怠ると、人身事故（死亡事故）の発生するおそれがあります。

⚠ **注意**　マンホール・点検口などの転落・傷害事故防止

①作業終了後、マンホール・点検口などの蓋は、必ず閉めてください。またロック機構のあるものは、必ずロックしてください。
②マンホール・点検口などの蓋のひび割れ・破損など異常を発見したら、直ちに取り替えてください。
③マンホールや点検口などの蓋は、経年劣化によって破損し易くなります。劣化が著しいものは、交換をお薦めします。
これらの注意を怠ると、転落・傷害の生ずるおそれがあります。

⚠ **注意**　感電・発火事故防止

①ブロワ・制御盤の近く（約50cm以内）には、ものを置かないでください。
②電源コードの上には、ものを置かないでください。
このような注意を怠ると、感電・発火の生ずるおそれがあります。

「取扱説明書」、「施工要領書」、「維持管理要領書」の必要な方は弊社の窓口までご連絡ください。または、ホームページからもダウンロードしていただけます。

VEGETABLE OIL INK

2003年8月作成

株式会社クボタ

本　　社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2-47 ☎06(6648)2732 FAX 06(6648)3588

クボタ浄化槽システム株式会社

大阪本社 〒556-8601 大阪市浪速区敷津東一丁目2-47 ☎06(6648)3580 FAX 06(6648)3588
東京支店 〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-3-10ダイワビル4F ☎03(3245)3708 FAX 03(3245)3720
中国支店 〒730-0036 広島市中区袋町4-25明治安田生命広島ビル9F ☎082(546)0652 FAX 082(546)0672
九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前3-2-8住友生命ビル5F ☎092(473)2540 FAX 092(473)2581
東北営業所 〒981-1221 名取市田高字原182-1 ☎022(383)1697 FAX 022(383)1698
中部営業所 〒450-0002 名古屋市中村区名駅3丁目22-8大東海ビル3F ☎052(564)5121 FAX 052(564)5129
四国営業所 〒760-0050 高松市亀井町2-1朝日生命ビル6F ☎087(836)3916 FAX 087(836)3919
岡山営業所 〒710-0824 倉敷市白楽町409 ☎086(430)5927 FAX 086(430)1950
南九州営業所 〒891-0175 鹿児島市桜ヶ丘2-24-18 ☎099(265)1132 FAX 099(265)1136

●当カタログの放流水質のBOD（生物化学的酸素要求量）、COD（化学的酸素要求量）、T-N（全窒素）、T-P（全リン）、SS（浮遊物質量）濃度mg/Lは日間平均値です。
●商品改良のため、外観・仕様・価格は予告なく変更することがあります。
●写真は印刷色のため実物と色合いが多少異なることがあります。

2014年10月十三版

C-OJ01'14.10.3.STD. KB.